



第3期

太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (太宰府市まちづくりビジョン) 【素案】



令和〇年〇月

目次

第1章 はじめに	1
1 策定の背景	1
2 総合戦略の計画期間	1
第2章 太宰府市まち・ひと・しごと・創生総合戦略の体系	2
1 本市の目指すべき姿(地域ビジョン)	2
2 総合戦略の構成	4
3 総合戦略の体系	5
4 SDGs の推進	5
第3章 基本目標ごとの基本的方向及び具体的な施策	6
基本目標1 だざいふの底力総発揮構想(成長戦略)	6
基本目標2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)	15
基本目標3 令和の都大だざいふ構想(圏域拡大戦略)	30
基本目標4 持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)	41
市政積年のもしくは社会先進的な5つの課題から捉えた体系	50
柱1 危機管理の徹底強化	51
柱2 子どもまんなかの施策展開	55
柱3 市民と交流人口・関係人口の相互発展	61
底流1 新しい公共をテーマとした仕組みづくり	69
底流2 歳出入一体改革の推進	80
第4章 地方創生だざいふモデル	95
1 地方自治の変遷	95
2 地方創生だざいふモデル	95
第5章 施策の効果検証等の実施	96

第1章 はじめに

1 策定の背景

急速に進む少子高齢化、人口減少や、東京圏への一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、地方を活性化するための基本的な理念を定める「まち・ひと・しごと創生法」の趣旨を踏まえ、太宰府市においても将来にわたって活力ある社会を実現していくために、平成27年(2015年)3月に第1期「まち・ひと・しごと創生太宰府市総合戦略」策定、令和2年(2020年)3月には本市が更に大きく羽ばたき、我が国そして地方の牽引役にふさわしい役割を果たすべく、太宰府ならではの第2期「太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し取組を進めてきました。

国においては、デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、令和4年12月に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

県においては、令和2年3月に令和2年度から令和6年度までの5か年として「第2期福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略」を策定し、令和4年度からは「福岡県総合計画(令和4年度から令和8年度)」を総合戦略としても位置付け、一体として取り組みを進めています。

本市においても、国、県の総合戦略を勘案しながら、これまでの総合戦略を踏まえ、令和7年度(2025年度)から始まる新たな総合戦略「第3期まち・ひと・しごと創生太宰府市総合戦略」を策定しました。

2 総合戦略の計画期間

総合戦略の期間は、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とします。

第2章 太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

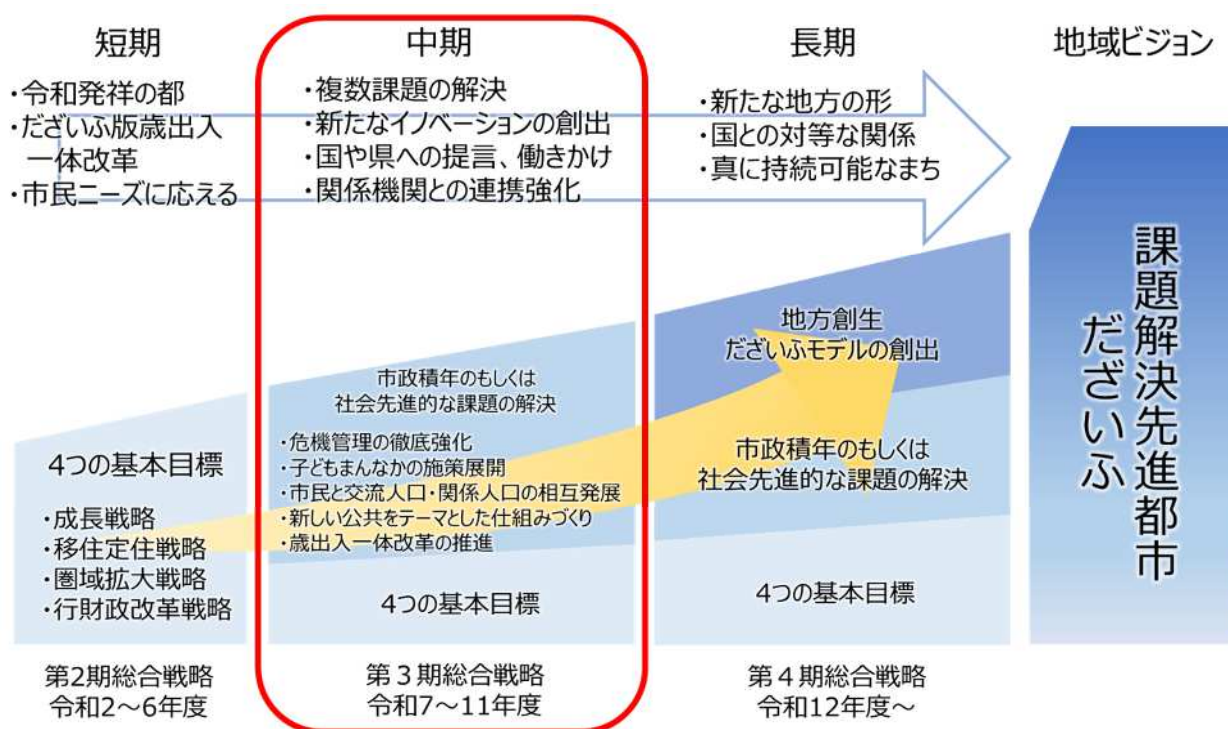
1 本市の目指すべき姿(地域ビジョン)

人口減少・少子高齢化、ICTの進化、デジタル・オンラインの活用など社会情勢、生活様式が大きく変化するなか、本市がさらに羽ばたき、わが国そして地方の牽引役にふさわしい役割を果たすべく市政積年のもしくは社会先進的な課題を積極的に解決するため取組を進めてきました。今後さらに多様に変化するニーズや社会問題、深化する人口減少、少子高齢化などに対応するため、これまでの取組を継承しつつ、令和の都だざいふらしさの視点、さらにデジタルの力を活用するなど取組を進めていきます。取組にあたり、市政積年のもしくは社会先進的な課題である「危機管理の徹底」「子どもまんなかの施策展開」「市民と交流人口・関係人口の相互発展」「新しい公共をテーマとした仕組みづくり」「歳出入一体改革の推進」を特に力点を置き取り組むべき最重点事項とし、100年後も続くまちづくりを目指します。

そのため、本市が目指すべき姿は、真に持続可能な市政を実現する「課題解決先進都市だざいふ」とします。

○総合戦略短中長期的イメージ

第3期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(太宰府市まちづくりビジョン)は中期に位置付けています。

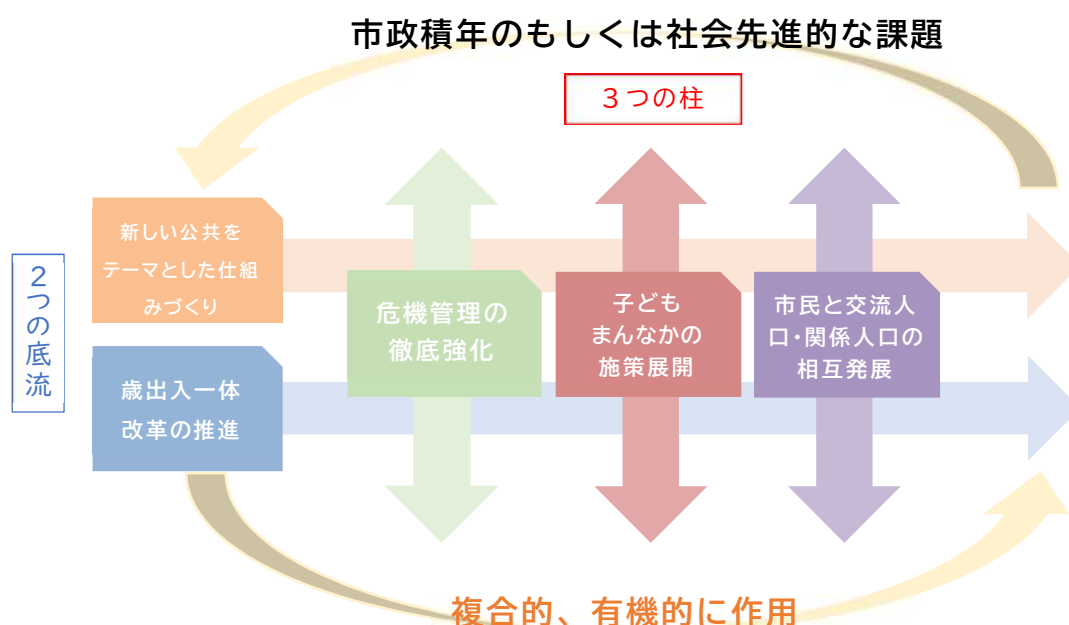


○市政積年のもしくは社会先進的な5つの課題

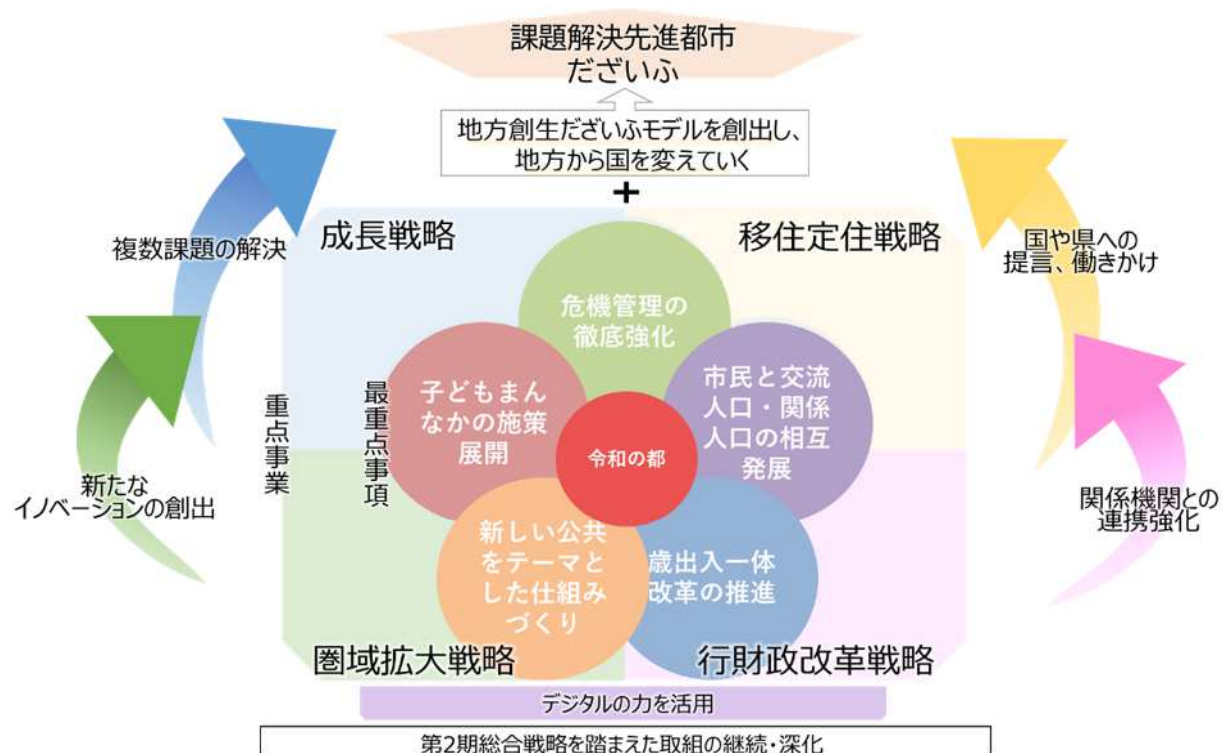
多様に変化するニーズや社会問題、深化する人口減少、少子高齢化などに対応するための市政積年のもしくは社会先進的な5つの課題は、それぞれが独立するものではなく横断的、縦断的に絡み合うものです。「危機管理の徹底強化」、「子どもまんなかの施策展開」、「市民と交流人口・関係人口の相互発展」は縦断的なものとして3つの柱に、「新しい公共をテーマとした仕組みづくり」、「歳出入一体改革の推進」は横断的なものとして2つの底流に位置付けており、5つの課題はマトリクス的な視点を有しています。そのため、課題を網羅的に捉えながら複合的、有機的に作用させ、解決につなげていきます。

各施策には対応する5つの課題のアイコンを付しており、課題との関連性が視認できるようにしています。

危機管理の徹底強化	アイコン 危	これからの時代は、常に災害や犯罪などの危機があると認識し、大規模な自然災害などから市民や観光客などの生命財産を守るために体制整備・訓練・情報発信などを強化していきます。
子どもまんなかの施策展開	子	子どもを令和の都だざいふの宝としてまんなかに位置付け、いきることをサポートし、すくすくのびのびと成長できるよう、更なる居場所や出番づくりなど子ども施策を推進していきます。
市民と交流人口・関係人口の相互発展	交	住まう人も訪れる人もともに慶び合えるまちとして、交流人口・関係人口からの経済税収効果を飛躍的に高め、市民メリットを体感できる仕組みを創っていきます。
新しい公共をテーマとした仕組みづくり	共	自治会、関係機関、各分野の団体などと防災や福祉、教育など様々なニーズや課題を持ち寄り、対話を重ね、役割を明確にし、課題解決を図る仕組みづくりを創っていきます。
歳出入一体改革の推進	改	多様化し拡大する市民ニーズに応えつつ持続可能な行財政運営を堅持するため、歳出入一体改革を図っていきます。



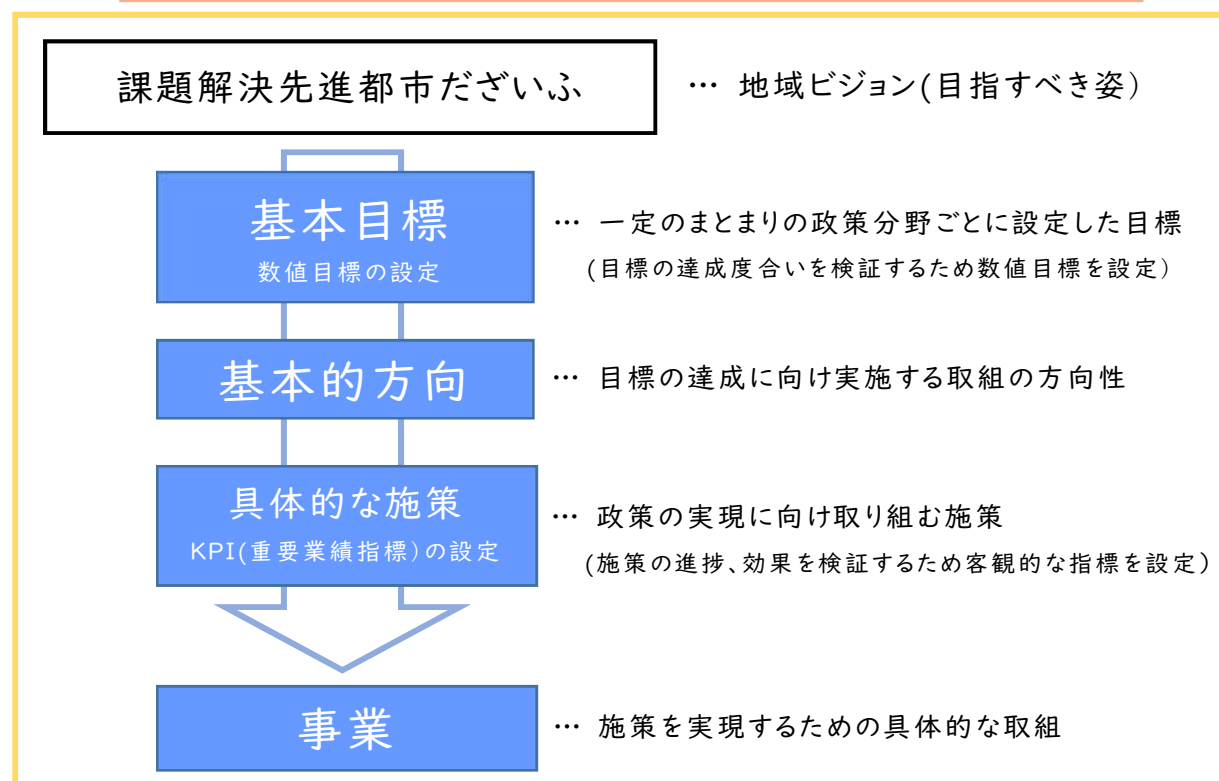
○第3期総合戦略イメージ



2 総合戦略の構成

太宰府市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

第3期まち・ひと・しごと創生太宰府市総合戦略



3 総合戦略の体系

これまでの太宰府市総合戦略、国の総合戦略を踏まえ、以下の4つの基本目標を設定します。

基本目標 1

だざいふの底力総発揮構想(成長戦略)

基本目標 2

だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

基本目標 3

令和の都大だざいふ構想(圏域拡大戦略)

基本目標 4

持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

4 SDGs の推進

国の総合戦略において、地方公共団体での持続可能な開発目標(SDGs)への取組を推進することが必要であるとされました。本市においても中長期を見通した持続可能なまちづくりを推進するために、関連するSDGsの17のゴールを示すアイコンを付しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第3章 基本目標ごとの基本的方向及び具体的な施策

基本目標 1

だざい心の底力総発揮構想(成長戦略)

1 基本的方向

太宰府市は太宰府天満宮を始めとする名所や、令和発祥の地となった太宰府政庁跡などの価値ある史跡、5つもの大学・短大など他市を圧倒する多くの歴史的文化的資源を有し、活気ある福岡市のベッドタウンにも位置する魅力あふれる都です。民間活力の活用を始めあらゆる手段を知恵を駆使して総結集し、本市が本来の底力を遺憾なく発揮することで、「令和の都」としてさらに羽ばたき、我が国そして地方の牽引役にふさわしい役割を果たします。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
個人市民税納税者数	35,286 人	36,300 人
法人市民税納税法人数	1,626 法人	1,690 法人
域内付加価値額	53,329 百万円(R3)	58,000 百万円

3 具体的な施策

施策 01	基本目標 1 だざい心の底力総発揮構想(成長戦略)	   
	戦略的まちづくりの推進	

◆課題解決先進モデルの実現【経営企画課】

民間活力や資本を最大限活用して、最小の投資で最大の効果を上げる、課題解決先進モデルの実現を目指します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	包括連携協定締結数	7 社	14 社

◆ビジョン会議の活用【経営企画課】

市民をはじめ産官学等で構成されるまちづくりビジョン会議を活用しながら戦略的まちづくりを推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	まちづくりビジョン会議開催数	3回	6回

◆すぐやる班の推進【経営企画課】

市民ニーズに素早く対応するために、市で対応可能な作業や頻発する鳥獣被害対策等を実行します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	すぐやる班の活動回数	437回	800回

◆DXの推進【文書情報課】

地域課題、行政課題にDXを活用し課題の解決に取り組みます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	導入した件数(累計)	-	10件
Output	課題解決に向け検討した件数(累計)	-	20件

◆令和の都だざいふ応援大使の活用【経営企画課】

令和の都だざいふ応援大使を活用し、あらゆる機会を通じたシティプロモーションを展開することで、本市の更なる魅力化、活性化につなげます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市ホームページ総アクセス数	4,233,646PV	4,500,000PV
Output	令和の都だざいふ応援大使の活動回数	49回	60回



◆シティプロモーションの推進【経営企画課】

本市の強みである観光施策と文化財施策を融合した令和の都だざいふならではのシティプロモーションを行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
	令和発祥の都サイト（観光・文化財）アクセス数	692,000PV	700,000PV
Output	キャラクターグッズの配付または SNS やデジタルサイネージなど様々な媒体での情報発信	-	

◆サイン統一に向けた検討【都市計画課】

歴史的観光都市に相応しい、安全で景観に配慮した公共サインの統一を検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	
Output	平成 20 年に作成した「歴史観光系公共サインガイドライン」の改定の検討	未実施	実施

◆新たな情報発信手段の検討・構築【経営企画課】

市政情報、観光情報、防災情報に加え、災害時における情報の発信も含めた一体的な情報発信について検討を行っていきます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の情報を得ている媒体／情報を得ていない人の割合	7.4%	5.0%
Output	新たな情報発信手段の件数	-	1 件



◆企業・商業施設等誘致の実現【産業振興課】

企業誘致戦略書に基づき地域課題解決に寄与する企業誘致及び市民生活利便性向上のために商業施設等の誘致を積極的に行い、地域の活性化と雇用、市税等の増加に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	企業・商業施設等誘致数(累計)	2 件	3 件
Output	企業・商業施設等商談数(累計)	2 件	10 件

◆起業・創業支援の拡充【産業振興課】

商工会等と連携し幅広い世代に向けて起業・創業支援の拡充を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	起業・創業者数	35 件	35 件
Output	創業者補助金補助件数	7 件	15 件

◆地場産業の育成・活性化【産業振興課】

商工会等と連携し地域の担い手である市内の中小企業、小規模企業者に支援を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	中小企業事業資金融資額	390,502 千円	400,000 千円
Output	預託金貸付件数	37 件	37 件
	がんばる中小企業応援補助金補助件数	7 件	10 件



◆令和の都だざいふ「梅」プロジェクトの推進【産業振興課】

梅製品のブランド価値を高めるため、梅の品質向上や収穫量の拡大に努め、梅を活用したモノ・コト製品の開発を進めます。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	梅プロジェクト製品ふるさと納税額	10,966 千円	13,000 千円
Output	梅プロジェクト製品ふるさと納税返礼品年間平均登録数	14 製品	20 製品

◆「日本一の猛暑のまち」の観光施策展開【観光推進課】

観光客の猛暑対策や「日本一の猛暑のまち」のイメージを生かした観光事業を行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業参加者数	-	200 人
Output	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業数	-	1 件

◆ふるさと納税返礼品の充実【経営企画課】

地場産品や体験型など魅力ある返礼品の開発や拡充に努めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ふるさと納税寄附額	1,838,282 千円	2,000,000 千円
Output	ふるさと納税返礼品数	1,044 品	1,300 品
	事業者商談数	208 件	250 件
	サイト掲載数	7 サイト	13 サイト

◆企業版ふるさと納税の活用【経営企画課】

本市のプロジェクトに賛同する企業と連携して地方創生の推進、財源の確保に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	企業版ふるさと納税寄附額	26,500 千円	30,000 千円
Output	企業版ふるさと納税寄附企業数（累計）	22 社	30 社
	企業商談数	-	5 件

施策 05

基本目標 1 だざいふの底力総発揮構想(成長戦略)

多様な主体との連携強化



◆商工会との連携【産業振興課】

商工会との連携を更に進め、市内商工業の振興に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	地域経済の成長、商業活動の活性化	-	-
Output	商工会との定例会	12 回	12 回

◆地域関係団体との連携【観光推進課 他】

(一社)太宰府観光協会、太宰府天満宮、九州国立博物館等の地域関係団体と連携した事業を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	観光関係団体との連携事業数	8 件	10 件
Output	連携した観光関係団体数	11 件	16 件

公共施設の効果的な活用やニーズを捉えた観光コンテンツの造成・販売、観光環境整備等に民間活力を導入する等の観光振興事業を推進します。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	民間事業者との連携事業数	4 件	8 件
Output	連携した民間事業者数	10 件	15 件

学校・教育機関と連携した観光振興事業を推進します。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	学校・教育機関との連携事業数	3 件	6 件
Output	連携した学校・教育機関数	3 件	6 件

◆DMO を含む自立型地域観光組織体制の検討【観光推進課】

危 子 交

本市の観光マーケティングを担い、自主財源での運用を前提とする
DMOを含めた自立型地域観光組織体制の整備を検討します。

共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自立型地域観光組織体制の検討	未設立	設立
Output	自立型地域観光組織体制検討進捗度	0%	100%

施策 06

基本目標 1 だざい心の底力総発揮構想(成長戦略)

地域資源の活用



◆空家等の既存ストック活用の仕組みづくり【都市計画課】

危 子 交

連携協定締結団体等と空家等の所有者をつなぐ場の提供を行い空家等の
既存ストックの活用につなげます。

共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	空家等の活用件数(累計)	0 件	5 件
Output	連携協定締結団体等の相談会開催件数	26 回	30 回

◆地域等との連携強化【都市計画課】

危 子 交

市の空家等に関する対策について出前講座を通して区自治会や地域
団体等と対話し空家等に関する課題と活用の需要を把握します。

共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自治会等からの相談・活用件数	7 件	15 件
Output	自治会等への空家等出前講座開催件数	0 件	4 件

◆都市近郊農業の振興【産業振興課】

農家の持続的経営の確保や荒廃農地の解消のため、担い手の育成・確保を行うとともに、稲作と他作物を組み合わせた都市近郊型農業と地産地消の取組を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	地産地消推進補助金申請者数	35 名	40 名
Output	自己保全管理農地面積	297,397 ㎡	210,000 ㎡

◆有害鳥獣被害防止【産業振興課】

有害鳥獣捕獲活動などを継続して行い、有害鳥獣対策の強化を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	イノシシによる農地被害額	282,598 円	211,949 円
Output	イノシシの捕獲頭数	198 頭	250 頭

施策 07

基本目標 1 だざいふの底力総発揮構想(成長戦略)

ニューだざいふ型市街地の活性化



◆西鉄五条駅周辺の整備促進等事業の推進【都市計画課】

西鉄五条駅周辺の活性化に向け、持続可能な都市構造への転換を図り「コンパクトなまちづくり」を実現するための事業を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人の割合	74.8%	80.0%
Output	西鉄五条駅周辺の活性化に向けた事業の推進	未着手	着手

◆駅周辺の事業計画に基づく道路改良、駅前広場の改修【建設課】

駅周辺の活性化のための道路改良、駅前広場の改修を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	道路、駅前広場の改修	未着手	着手

◆都市計画マスタープランの改定業務【都市計画課】

社会状況の変化に対応し将来に向けて自立持続可能性をより高めるため、立地適正化計画など関連計画との整合性を保ち都市計画マスタープランの改定に取り組みます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人の割合	74.8%	80.0%
Output	第2次太宰府市都市計画マスタープランの改定	未実施	実施

◆立地適正化計画による届出制度の活用【都市計画課】

立地適正化計画による届出制度を活用し、都市機能の維持・充実を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	各拠点における都市機能数	34 機能	35 機能
Output	立地適正化計画による届出制度の受付	未実施	実施

基本目標 2

だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

1 基本的方向

太宰府市は福岡市のベッドタウンであり、学生が多く集う市でもあります。令和の都だざいふとして歴史や文化に重きを置きつつも、魅力づくりをあわせて行ってきたことで居留意欲度も上昇中であり、子育て世代のさらなる自然増や社会増も期待できます。こうした現状を踏まえ、かつてこの地が舞台となった万葉集の精神にもならい、全世代が居場所と出番を持てる本市ならではの心温まるまちづくりを進めることで、日本一住みやすく世界一元気な都を目指します。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.5%	77.0%
【市民意識調査】 生きがいを感じている高齢者の割合	77.1%	80.0%

3 具体的な施策

施策 08	基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)	 
	新しい公共の観点による 市民参加、地域コミュニティの活性化	

◆新しい公共座談会の実施【経営企画課】

市政やまちづくりについて、市民と意見交換を行い率直な意見や提言を市政運営に反映させます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	新しい公共座談会の実施	実施	実施

◆自治協議会、ボランティア団体、NPO法人等との連携強化

【地域コミュニティ課】

校区自治協議会、社会福祉協議会、小・中学校、ボランティア団体、NPO法人等と情報共有を行い連携することで地域課題解決を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 自治会活動・校区自治協議会活動「参加派」の割合	31.8%	50.0%
Output	自治協議会と他団体との連携事業数	5 事業	12 事業

◆自治会DXの推進【地域コミュニティ課】

自治会DXを進め自治会活動の効率活性化、負担軽減を図り持続可能な自治会運営を支援します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自治会加入率	92.6%	94.0%
Output	ホームページ開設自治会数	5 自治会	30 自治会

◆放課後子ども教室の拡充【社会教育課】

地域コーディネーターが主体となって、学校と協力しながら放課後子ども教室の拡充を図ります。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	参加児童数（のべ人数）	983 人	1,500 人
Output	実施校数	3 校	7 校

◆キャンパスネットワークを中心とした連携【国際・交流課】

キャンパスネットワーク会議学生連絡会学生を中心に学生と市長の意見交換会などを通じて本市への関心を深めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	キャンパスネットワーク会議学生連絡会事業に参加する学生数	68 人	100 人
Output	学生と市民の交流事業回数	1 回	6 回

キャンパスネットワーク会議を中心としただざいふ遊学プロジェクトなどの高大連携事業の強化を更に行います。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	高大連携事業参加校	2校	9校
	高大連携事業参加者数	47人	100人
Output	大学の教員や学生が高校で特別授業を実施、部活動をサポートする機会の提供回数	1回	10回

◆市民・市民団体の観光施策への参画【観光推進課】

地域の魅力発信ガイドや体験コンテンツ、観光イベントへの参画を通して、市民の生きがい・郷土愛の醸成を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントへの参加者数	3,024人	3,300人
Output	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントの実施回数	229件	250件

施策 09

基本目標2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実



◆子育てしやすい環境整備と子育て支援事業の拡充【子育て支援課】

子育て支援の充実を図り、親が安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進します。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.5%	77.0%
Output	子育て講座参加人数	240人	240人
	ファミリー・サポート・センター事業活用回数	241回	550回

◆完全給食の着実な実施と費用負担支援【学校教育課】

小中学生の完全給食を着実に実施し育ち盛りの栄養補給を担保するとともに給食費の負担を支援し食材の質を維持しつつ子育ての負担を軽減します。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	給食費の助成	実施	実施

◆保育サービスの充実【保育児童課】

多様な働き方やライフスタイルなど様々なニーズに対応し、全ての子どもへの育ちを応援するため保育サービスの充実に努めます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	保育所利用待機児童数（4月1日現在）	0人	0人
Output	保育所入所定員数（4月1日現在）	1,577人	1,601人
Outcome	学童保育所利用待機児童数（4月1日現在）	0人	0人
Output	学童保育所入所定員数（4月1日現在）	900人	955人
Outcome	こども誰でも通園制度の実施施設数	-	2園
Output	こども誰でも通園制度の実施	-	実施

◆学校・家庭・地域の三者協働による共育活動の充実【学校教育課】

各中学校ブロック単位で小中連携を生かしたコミュニティ・スクールの推進に努めます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	コミュニティ・スクール推進の進捗状況評価の総合評価	3.15	3.3
Output	研修会の実施	2回	2回

◆大学や民間等の教育的資源を生かした教育活動の充実【学校教育課】

学校教育充実のため、本市に所在する大学や民間事業者・施設等の教育的資源を積極的に活用します。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	大学生ボランティア参加大学数（市外含む）	3校	3校
Output	教育分野で大学と連携している事業数	6事業	6事業
	授業において民間プールを活用した学校数	3校	11校

◆学校教育環境の整備・充実【学校教育課】

新しい教育課程や本市の教育課題へ対応するため、教育環境の整備に努めます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ICT 環境整備の進捗状況評価の総合得点	4.53	4.8
Output	ICT 支援員による授業支援及び校務支援数	4,358 回	4,800 回

◆(再掲)放課後子ども教室の拡充【社会教育課】

地域と家庭による学校を拠点とした放課後の子どもの居場所づくりを進めます。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	参加児童数（のべ人数）	983 人	1,500 人
Output	実施校数	3 校	7 校

◆全ての子育て世帯への切れ目のない支援【子育て支援課】

全ての妊産婦・子育て世帯・子どもに対しこども家庭センターにおける相談支援事業を通して必要な支援につなげます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.5%	77.0%
Output	産後ケア事業の利用率	21.2%	40.0%
	子育て世帯訪問支援事業の利用世帯数	4 世帯	25 世帯

◆ひとり親家庭の支援【保育児童課】

ひとり親家庭の生活の安定につながる取組を実施し、自立の促進を図ります。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金の利用者数	6 人	18 人
Output	周知回数（広報掲載等）	1 回	2 回

施策 10

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

世界に羽ばたく人材育成



◆子ども・学生未来会議の実施【社会教育課】

小・中学校の児童生徒から地域課題解決につながる提案を受け、子ども・学生未来会議の場などで議論し実行するプロジェクトを実施します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	実施する提案数	-	3 件
Output	提案数	-	11 件

◆学生まちづくり課題解決プロジェクトの実施【国際・交流課】

地域課題を解決するために、学生が中心となり、地域住民との連携を深めながら実践的なまちづくりの提案や活動を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	実施する提案数	-	15 件
Output	課題解決プロジェクト応募者数	-	20 チーム

◆子ども学生美術展の実施【国際・交流課】

太宰府市内外問わず子ども、学生が日頃の学びや創造力を発揮し、地域社会とつながる機会を提供します。

	危	子	交
共		○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	展示作品数	52 点	100 点
Output	子ども学生美術展応募者数	860 人	1,000 人

◆世界に羽ばたく人材育成表彰の実施【総務課】

文化、芸術、スポーツなど、あらゆる分野において顕著な功績があった若者を表彰することで、次代を担う若い才能の育成を図ります。

	危	子	交
共		○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	全国大会以上の大会で顕著な成績を収めた人(団体)数	44 人(団体)	250 人(団体)
Output	表彰者延べ人(団体)数	108 人(団体)	600 人(団体)

◆九州国立博物館と連携した学習の推進【学校教育課】

小・中学生に本市が誇る九州国立博物館の特別展を観覧する機会を設け、グローバルな視点をもった子どもを育てます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	九州国立博物館に招待した児童生徒数の割合	-	24.0%
Output	九州国立博物館への招待実施回数	-	11回

◆STEAM 教育等の実施【社会教育課】

民間や大学等の活力を生かし、STEAM 教育等の実施を支援します。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	参加者数（のべ人数）	342人	400人
Output	実施回数	37回	40回

施策 11

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

高齢者の活躍促進



◆高齢者の就労促進【福祉課】

シルバー人材センターへの支援や県の就労支援団体と連携し、高齢者の就業に関する事業周知や相談会を行い高齢者の就労促進を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	シルバー人材センター就労数（のべ人数）	23,062人	24,500人
Output	就労に関する事業や相談会の開催・周知回数	2回	2回

◆敬老事業【高齢者支援課】

長きにわたり地域の発展にご尽力いただいた高齢者の皆様に敬意を表すための敬老事業を継続して実施します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	敬老事業	実施	実施

◆長寿クラブ活動支援【高齢者支援課】

長寿クラブ連合会と連携し、団塊の世代層に地域参加・共助社会の重要性について理解を広め更なる組織の活性化を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	長寿クラブ連合会会員数	1,029 人	1,200 人
Output	単位クラブ設立に向けた相談の回数	1 回	6 回

施策 12

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

福祉サービスの拡充



◆障がい福祉サービスの充実【福祉課】

障がいのある人が地域で安心して暮らし続けるために、制度やサービス内容の周知を行うとともに、個々の障がいに応じた適切なサービスの提供を図ります。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	障がい福祉サービス利用実人数（訪問系、日中活動系、居住系）	676 人	1,280 人
Output	障がい福祉サービス支給決定数	1,048 サービス	1,268 サービス

◆介護のしごと魅力発信・人材確保定着事業【介護保険課】

福祉・介護のイメージ・魅力向上、理解促進のためのイベント開催や情報発信などを行い、福祉・介護分野への多様な人材の参入促進・定着を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市内事業所アンケート】 介護人材が「不足・やや不足」と回答する事業所の割合	60.0%	30.0%
Output	就職フェアの開催	-	毎年 1 回以上

◆新しい認知症観の普及推進【高齢者支援課】

認知症に関する正しい知識を普及啓発し、地域共生社会の実現を目指します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	認知症の人・家族等が参画した事業の実現	-	実施
Output	認知症サポーター養成数	145 人	235 人
	認知症サポータステップアップ講座参加者数（累計）	60 人	150 人
	認知症の日、認知症月間におけるイベント実施	1 件	1 件

施策 13	基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)
	市民の健康づくり



◆がん検診の受診率向上【元気づくり課】

がん検診の受診率向上のための取組を行い、がんの早期発見・早期治療により市民の健康寿命を延ばします。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 健康状態が良好な人の割合	83.9%	85.0%
Output	がん検診受診率	6.4%	10.0%
	がん検診精密検査未受診勧奨者の割合	100%	100%

◆健康を支える環境の整備【元気づくり課】

健康状態を記録できる仕組みを導入し、健康づくりに有効な情報発信を行い、健(検)診率の向上を図ります。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 健康状態が良好な人の割合	83.9%	85.0%
Output	健康支援のためのアプリ導入と啓発	-	R11 年までの 早期に導入

◆国保被保険者への特定健康診査・特定保健指導の推進【国保年金課】

40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査受診率や特定保健指導実施（終了）率を向上させる取組を実施し生活習慣病の発症や重症化予防を図ります。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	特定健診受診率	37.5%	42.0%
Output	特定健診通知勧奨率	100%	100%
Outcome	特定保健指導終了率	65.6%	79.0%
Output	保健指導実施率	95.3%	100%

◆介護予防の推進【高齢者支援課】

地域の通いの場や介護予防教室を通じて介護予防を推進し、健康寿命の延伸を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【地域包括ケア構築に向けた高齢者実態調査】 介護予防に取り組んでいない人の割合	20.1% (R4年度)	15.0% (R10年度)
Output	通いの場の実施個所数	81 個所	90 個所

施策 14

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

市民の雇用促進



◆就労支援の促進【生活支援課】

一般就労に向けた準備が整っていない方の社会参加に向けた支援のため、就労準備支援制度の活用を進めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	就労準備支援事業の活用により一般就労についた件数（累計）	3 件	15 件
Output	就労準備支援制度利用者数	6 人	6 人

◆就労支援に関する障がい福祉サービスの充実【福祉課】

障がいのある人の社会的自立と安定した生活を目指し、自らの選択に基づいた就労支援に関する障がい福祉サービスの提供を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一般就労への移行者数	12 人	13 人
Output	障がい福祉サービス支給決定数（就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型）	406 サービス	697 サービス

◆就職氷河期世代対策【総務課】

市役所でのキャリア採用をはじめとした就職氷河期世代の雇用促進や所得、結婚、孤立孤独など多岐にわたる対策に努めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一般事務（キャリア枠）採用試験の募集人数	3 人	5 人
Output	就職説明会の開催及び参加回数	6 回	10 回

◆地域企業との連携【産業振興課】

地域の企業等と連携しつつ、市民の雇用拡大・促進に努めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	人材マッチングによる就労件数(累計)	-	10 件
Output	地元企業との人材マッチング体制構築	-	構築

施策 15

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

居場所づくりの推進



◆不登校対策【学校教育課】

校内に設置したサポートルームなど不登校児童生徒の居場所づくりを進め、安心できる学校づくりを進めます。

	危	子	交
共		○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	不登校児童生徒の復帰率(小学生)	39.7%	40.0%
	不登校児童生徒の復帰率(中学生)	35.1%	37.0%
Output	不登校対策事業数	5 事業	6 事業

◆ひきこもり対策【生活支援課】

ひきこもり者やその家族に対し、孤独感を減らし、自らの意欲や自信を取り戻して社会参加や就労等に結び付くための支援を進めます。

	危	子	交
共		○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ひきこもり支援に繋げるための居場所づくり	-	3 箇所
Output	ひきこもり者や家族からの相談件数	4 件	4 件

施策 16

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

スポーツ・文化・芸術の推進



◆太宰府市スポーツ推進計画の改定【スポーツ課】

子どもから高齢者まで誰もがスポーツを気軽に楽しみ生きがいづくりにつながる生涯スポーツの実現を図るため、スポーツ推進計画を見直し、スポーツ施策を推進します。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 週1回以上のスポーツの実施率	47.6%	65.0%
Output	スポーツの日行事参加者数	2,322 人	3,500 人

◆スポーツ施設の老朽化対策【スポーツ課】

スポーツ施設の適切な維持管理と計画的な施設整備のためスポーツ施設個別計画の見直しを行うなど施設の老朽化対策を実施します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	スポーツ施設の利用人数	423,949 人	540,000 人
Output	修繕・改修した施設数	6 施設	9 施設

◆文化芸術に触れる機会の提供【文化学習課】

文化芸術振興事業により市民の文化芸術に関する関心度の向上を目指します。

	危	子	交
共		○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	音楽会、講演会等主催事業来場者数	2,032 人	3,000 人
Output	音楽会、講演会等主催事業開催回数	5 回	6 回

◆郷土愛の醸成【文化財課】

小・中学校で歴史や文化、市民遺産などに関する授業の実施や職場体験、史跡見学を受け入れ、郷土愛を醸成します。

	危	子	交
共		○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	大宰府展示館・水城館の小・中学生の入館者数	4,470 人	4,800 人
Output	市内小・中学校の授業実施・職場体験、史跡見学の受け入れ件数	9 件	15 件

施策 17

基本目標 2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

全世代交流の促進



◆いきいき情報センターの充実【文化学習課】

全世代が交流しながらつながりを持って支え合う全世代交流型施設の充実を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	全世代交流フリースペース利用者数	30,931 人	35,000 人
Output	全世代交流フリースペース座席数	53 席	76 席

◆市民の森の整備【産業振興課】

四王寺山（市民の森）環境整備計画に掲げる施策の実現に向けて取組を進めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市民の森の平均利用頻度	-	月1回
Output	四王寺山（市民の森）環境整備計画に掲げる6事業の実施数	3事業	6事業

◆校区自治協議会事業の活性化【地域コミュニティ課】

校区自治協議会や各委員会において地域の課題や問題点の情報共有を行い、地域の特性に合わせた世代交流事業の活性化を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 自治会活動・校区自治協議会活動「参加派」の割合	31.8%	50.0%
Output	校区自治協議会による地域活動数	39件	46件

◆公共施設活用の検討【管財課】

公共施設を活用した全世代交流の場所や機会の提供を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	活用可能な施設数	1施設	1施設以上

施策
18

基本目標2 だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

人権・多様性尊重のまちづくり



◆人権尊重のまちづくりの推進【人権政策課・社会教育課】

全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人が尊重され、いきいきと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを引き続き推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 あらゆる人権が尊重されていると思う人の割合	78.5%	81.5%
Output	市民講演会参加者数	181人	300人
	人権講座「ひまわり」の参加者数	534人	700人

◆男女共同参画プランの推進【人権政策課】

だれもが個性と能力を発揮できる社会を実現するため、男女共同参画意識の向上に取り組みます。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 固定的な役割分担に「非同意派」の人の割合	76.6%	80.0%
Output	講演会等の開催数（男女共同参画推進センタールミナス主催分含む）	4回	4回

◆障がい者を理由とする差別解消の推進【福祉課】

障害者差別解消法に基づき、不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 あらゆる人権が尊重されていると思う人の割合	78.5%	81.5%
Output	障害者差別解消法職員研修開催数	1回	1回

◆バリアフリーの推進【福祉課】

障がいのある人もない人も分け隔てなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きていく社会の実現に向けた取組を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 あらゆる人権が尊重されていると思う人の割合	78.5%	81.5%
Output	障害者差別解消法職員研修開催数	1回	1回

基本目標 3

令和の都大だざいふ構想(圏域拡大戦略)

1 基本的方向

太宰府市は太古から世界・アジアの玄関口として、我が国・西日本・九州の政治・外交・防衛の要衝として栄えた歴史を持ち、当時の大宰帥大伴旅人による梅花の宴の様子を描いた万葉集より新元号令和が生まれました。時空を超えてこの地を捉え直し、令和の都にふさわしい大きな視点で史跡の維持保存・活用や国際交流、国や県、地域間との連携を進めることで、交流人口、関係人口の拡大による経済効果上昇や交通手段の充実に踏み出します。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 住みやすいと感じる市民の割合	79.3%	82.0%

3 具体的な施策

施策 19	基本目標 3 令和の都大だざいふ構想(圏域拡大戦略)	8 観光振興 観光地を つくる	12 観光振興 観光地を つくる
	市民と交流人口・関係人口の相互発展による 経済税収効果の向上		

◆周遊ルート・体験型コンテンツの造成・整備【観光推進課】

観光客がだざいふのファンとして何度も訪れたいと感じるような工夫を凝らした周遊ルートの造成や体験型コンテンツの造成、整備を進めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	リピート率	54.4%	58.5%
Output	ルート設定数	15 件	25 件
	体験プログラム造成・整備件数	10 件	15 件

◆滞在型観光コンテンツの充実【観光推進課】

ナイトタイムエコノミー・朝活等の様々な時間帯での受け皿となる観光コンテンツの充実を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	年間宿泊者数	43,622 人	50,000 人
	平均滞在時間	174 分	210 分
	観光消費額単価	4,600 円	5,700 円
Output	観光客向け体験プログラム数	10 件	15 件

◆(再掲)令和の都だざいふ「梅」プロジェクトの推進【産業振興課】

令和の都だざいふ梅プロジェクトを通じて真の梅のまちとしての認知度・魅力向上を図り観光誘客を進めます。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	梅プロジェクト製品数	27 製品	32 製品
Output	梅プロジェクト製品販売事業者数	18 事業者	21 事業者

施策 20	基本目標 3 令和の都だざいふ構想(圏域拡大戦略)
	観光産業の更なる振興



◆インバウンドの誘致【観光推進課】

従来の東アジアに加え日本文化体験のニーズが高い欧米豪や東南アジア等をターゲットにプロモーションの強化、体験型コンテンツの造成などのインバウンドの誘致を推進します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	観光案内所への外国人旅行者来訪者数	21,328 人	26,000 人
Output	海外向け観光情報発信機会数	-	25 件

◆ユニバーサルツーリズムの推進【観光推進課】

観光施設等におけるバリアフリー対応や各種案内の多言語化、バリアフリー情報の発信等の取組を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内民間施設が高齢者や障がい者などに対して「配慮している」と思う人の割合	27.7%	35.0%
Output	ふくおかバリアフリーマップ登録スポット数	91 件	120 件

◆(再掲)市民・市民団体の観光施策への参画【観光推進課】

地域の魅力発信ガイドや体験コンテンツ、観光イベントへの参画を通して、市民の生きがい・郷土愛の醸成を図ります。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントへの参加者数	3,024 人	3,300 人
Output	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントの実施回数	229 件	250 件

◆魅力や愛着を高める「だざいふ」ならではの情報発信【経営企画課】

だざいふファンを獲得するための「魅力や愛着を高める情報」、市民生活を豊かにするための「暮らしに必要な情報」を戦略的・効果的に発信します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の情報を得ている媒体／情報を得ていない人の割合	7.4%	5.0%
Output	情報発信に関するニーズ分析の実施(累計)	-	1 回
Outcome	令和発祥の都サイト（観光・文化財）アクセス数	692,000PV	700,000PV
Output	市ホームページ（観光・文化財）評価「皆さまのご意見をお聞かせください」の分析によるアドバイス	-	年 1 回



◆「だざいふ版ツーリストシップ」の普及啓発・受け入れ環境整備【観光推進課】

市民と交流人口関係人口の相互発展の視点からだざいふ観光のマナー、観光客を受け入れる際の心構えを示した「だざいふ版ツーリストシップ」の普及啓発を行うとともに観光客と地域住民の共存に向けた取組を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 観光客の来訪に対して「好ましい」と思う人の割合	82.8%	90.0%
Output	オーバーツーリズム対策事業回数(累計)	-	10回
	マナー啓発リーフレットの配布部数	-	40,000部

◆観光客・参拝客渋滞対策の推進【観光推進課】

行楽シーズンや年末年始等、交通渋滞が予想される時期に観光客・参拝客の交通誘導や観光分散化の取組を推進します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	観光客渋滞対策事業数(累計)	5回	25回

◆レンタサイクルなどによる観光周遊環境の整備【観光推進課】

ゆったりと観光周遊を行うことができるレンタサイクルなどを活用した観光周遊環境の整備を行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	レンタサイクル年間利用台数	1,327台	1,500台
Output	レンタサイクルポート数	1箇所	5箇所

◆交通需要の適切な管理【都市計画課】

市民生活と観光振興の両立を図るため、市民の移動手段を確保しながら観光客をターゲットとした利用者と収益増につながる交通需要の適切な管理手法を検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 観光客の来訪が「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と思う人の割合	48.2%	55.0%
Output	交通需要の適切な管理手法の検討	未実施	実施

◆交通情報案内システムの充実【都市計画課】

交通情報案内システムの内容を充実させ、来訪者の交通手段を公共交通機関に促すことで渋滞の緩和を目指します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	交通情報案内システムアクセス数	2,666,421PV	3,500,000PV

◆MaaSの活用促進【都市計画課】

複数の交通手段を組み合わせ、日常生活で利用しやすい企画乗車券を開発し公共交通利用者の増加を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 外出時の移動手段が「公共交通」の人の割合	10.0%	15.0%
Output	企画乗車券開発数（累計）	0件	5件

◆史跡の回遊性向上【文化財課】

観光客が集中している太宰府天満宮、九州国立博物館から大宰府政庁跡、客館跡、大宰府展示館、水城館、文化ふれあい館などへの観光客の回遊性向上を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	大宰府展示館・水城館・文化ふれあい館入館者数	43,375人	45,000人
Output	大宰府展示館・水城館・文化ふれあい館実施事業件数	32件	32件

◆(再掲)ふるさと納税返礼品の充実【経営企画課】

地場産品や体験型など魅力ある返礼品の開発や拡充に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ふるさと納税寄附額	1,838,282 千円	2,000,000 千円
Output	ふるさと納税返礼品数	1,044 品	1,300 品
	事業者商談数	208 件	250 件
	サイト掲載数	7 サイト	13 サイト

◆(再掲)企業版ふるさと納税の活用【経営企画課】

本市のプロジェクトに賛同する企業と連携して地方創生の推進、財源の確保に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	企業版ふるさと納税寄附額	26,500 千円	30,000 千円
Output	企業版ふるさと納税寄附企業数(累計)	22 社	30 社
	企業商談数	-	5 件

◆ふるさと納税を活用した関係づくり【経営企画課】

ふるさと納税を契機としたプロモーションを通し関係人口や交流人口の拡大を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ふるさと納税寄附者数	164,112 人	180,000 人
Output	情報発信数	12 媒体	15 媒体
	プロモーションイベント数	1 回	2 回

◆令和国際文化会議の開催【文化財課】

元号令和の由縁となった大伴旅人による梅花の宴を現代によみがえらせる国際的文化的会議を開催します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさの「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	会議の開催	1回	1回

◆観光関連における魅力を発信する人材の育成【観光推進課】

多言語対応、障がい者対応を含めた有償観光ガイドの育成及び登録制のガイド派遣システムの構築などについて検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	有償観光ガイド及び登録観光ガイドの人数	91人	100人
Output	有償観光ガイドの育成及び登録制のガイド派遣システムの構築の進捗度	-	100%

◆歴史、文化、芸術の観光交流への活用【観光推進課】

「令和」、「万葉」などの本市が有する歴史や文化・芸術を活用したイベントや体験型プログラム、まちあるきを実施するなど市民と観光客が触れ合う機会を提供します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	体験型プログラム・まちあるき事業等参加者数	2,862人	3,000人
Output	体験型プログラム・まちあるき事業等事業数	10件	15件



◆大宰府関連史跡の保存活用計画の策定【文化財課】

史跡の保存活用計画を策定し、適切な保存と先進的多用途活用を図ります。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	史跡保存活用計画の策定件数	2 件	5 件
Output	太宰府市史跡整備検討委員会の開催回数	-	3 回

◆大宰府関連史跡の整備・再整備の推進【文化財課】

大宰府関連史跡の整備・再整備を検討し、計画等の作成、整備事業を行います。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	史跡整備計画の策定件数	0 件	1 件
Output	太宰府市史跡整備検討委員会の開催回数	-	3 回

◆史跡を活用した観光振興【観光推進課】

史跡を活用した観光コンテンツの開発やプロモーションを福岡県、関連自治体等と連携して行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	史跡を活用した(観光関連)体験・イベント参加者数	1,037 人	1,200 人
Output	史跡を活用した(観光関連)事業数(累計)	6 件	10 件



◆国・県・関係機関との連携推進【経営企画課】

広域的課題解決の推進のため、国や県など連携を進めるとともに必要な事項については積極的に要望を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	要望件数	-	必要に応じて

◆姉妹都市・友好都市等との連携【国際・交流課】

姉妹都市や友好都市等との交流や、市内大学と連携している国外大学との交流を促進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【姉妹校交流生徒や市内大学連携留学生へのアンケート】 異文化へ理解が深まったと思う人の割合	未実施	50.0%
Output	交流イベント、プロジェクト数	4回	10回
Outcome	【市民意識調査】 多賀城市との友好都市締結の認知度	22.7%	30%以上
	【市民意識調査】 奈良市との友好都市締結の認知度	18.0%	30%以上
	【市民意識調査】 中津市との友好都市締結の認知度	14.5%	30%以上
Output	友好都市との交流イベントの数	1回	5回

◆観光関連における国内外自治体等との連携・交流【観光推進課】

県や九州圏内の観光地、本市が長年交流を続けている友好都市や姉妹都市、近隣市町村や西鉄沿線の自治体等との連携を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	国内外自治体との連携・交流事業数(累計)	6件	11件
Output	連携・交流した国内外自治体数(累計)	66件	80件



◆持続可能な地域公共交通の提供確保【都市計画課】

地域公共交通が、持続可能で利便性を維持・向上した移動手段となることを目指します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	移動に対する利便性の維持・向上	-	
Output	【市民意識調査】 市内のバスの利便性、鉄道の利便性、コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価の「肯定派」	バス：40.9%	40.9%以上を維持
		鉄道：68.5%	68.5%以上を維持
		コミュニティバス：35.9%	35.9%以上を維持

◆道路ネットワークの充実【都市計画課】

交通混雑解消のため、都市計画道路を含む幹線道路等の整備について関係機関との連携を進めるとともに、ボトルネックとなる箇所の改良を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	県道筑紫野古賀線の太宰府市工区内の整備延長	4車改良工事中 2,200m (全長 4,500m)	4車早期完成を目指す 2,200m (全長 4,500m)
	ボトルネック箇所の改良箇所数(累計)	1箇所	2箇所

◆自転車等の活用推進【都市計画課】

自転車活用推進法に基づき、安全で快適な自転車通行空間等の整備及び自転車の活用を推進する取組を加速させるため、計画策定の検討を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 外出時の移動手段のうち「自転車」の割合	6.4%	10.0%
Output	自転車ネットワーク計画、自転車活用推進計画策定	未策定	策定

◆(再掲)交通情報案内システムの充実【都市計画課】

交通情報案内システムの内容を充実させ、本市へ来訪される方の交通手段を公共交通機関に転換を促すことで、渋滞の緩和を目指します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	交通情報案内システムアクセス数	2,666,421PV	3,500,000PV

◆主要交差点の改良【建設課】

交通渋滞の原因となっている主要な交差点の改良を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	渋滞緩和、交通の円滑化、安全対策	-	
Output	右左折レーンの設置等	0箇所	1箇所

◆(再掲)レンタサイクルなどによる観光周遊環境の整備

【観光推進課】

渋滞に巻き込まれず、観光周遊を行うことができるレンタサイクルを活用した観光周遊環境の整備を行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	レンタサイクル年間利用台数	1,327台	1,500台
Output	レンタサイクルポート数	1箇所	5箇所

基本目標 4

持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

1 基本的方向

令和の都だざいふが歩んできた国際的、文化的都市としての悠久の歴史に思いを致し、その時の流れと令和の慶びを伝えていくため、本市ならではの防災、気候変動への適応、安心・安全のまちづくり、市街地の活性化、公共施設の多用途活用、環境負荷低減などによる行財政改革を進め、市民生活の向上とともに持続可能なまちづくりを推進して参ります。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%

3 具体的な施策

施策 27	基本目標 4 持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)	 
	危機管理の徹底強化による 安心・安全のまちづくり	

◆防犯力の向上【防災安全課】

防犯力の向上を目指し、地域見守りカメラの増設や地域パトロールの実施、防犯対策補助制度の創設検討を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	刑法犯認知件数(強盗、空き巣、忍込み、居空き)	16件	10件
Output	【市民意識調査】 防犯面について「安心派」の割合	66.6%	77.0%

◆道路冠水対策の推進【建設課】

アンダーパスなどに浸水感知センサーを設置し冠水予防、対策を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	冠水による事故件数	1件	0件
Output	浸水感知センサーの設置	地下道 7 箇所 冠水危険箇所 1 箇所	11 箇所

◆ため池の整備・改修【建設課】

ため池の劣化調査、耐震調査結果を受けて改修が必要なため池の工事を行い、安全維持に努めます。

	危	子	交
共	○	○	
改	○	○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ため池の安全維持	-	
Output	改修が必要なため池の工事	工事対象池数 2 池	工事完了池数 2 池

◆(再掲)すぐやる班の推進【経営企画課】

市民ニーズに素早く対応するために、市で対応可能な作業や頻発する鳥獣被害対策を実行します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	すぐやる班の活動回数	437 回	800 回

◆消費者行政の充実【産業振興課】

消費生活相談体制を継続し市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	消費生活相談体制の維持	体制有り	維持
Output	出前講座実施回数	2 回	3 回

◆官民との連携強化【防災安全課】

国・県・警察・消防・区自治会・他関係団体との連携を強化し、地域の交通安全や防犯など危機管理の徹底強化への取組を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	刑法犯認知件数（強盗、空き巣、忍込み、居空き）	16 件	10 件
Output	防犯講座への参加人数	300 人	500 人

◆官民との連携強化【防災安全課】

国・県・消防・警察・自衛隊・区自治会・民間企業との連携を強化し、平常時、非常時における防災・減災への啓発活動等を実施し、防災力の向上を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自主防災組織数	37 自治会	44 自治会
Output	防災訓練等啓発の回数	1 回	2 回

◆クーリングシェルの設置促進【防災安全課】

民間施設も含めたクーリングシェルの設置拡大を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	熱中症による救急搬送件数	69 人	69 人以下
Output	指定施設数	-	30 施設

◆防災意識の高揚【防災安全課】

市民の防災意識の高揚を図るため、防災講座を実施し各家庭における食料備蓄を促進します。

	危	子	交
共	○	○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 3 日分程度の食料・飲料を備蓄している人の割合	43.4%	55.0%
Output	防災講座の回数	30 回	30 回

◆観光客・参拝客災害への対応【観光推進課】

近隣自治体、観光事業者や地域と連携し、災害等対応についてのガイドラインの整備や定期的な避難訓練等の実施を検討します。

	危	子	交
共	○		○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	観光危機管理マニュアルの作成	未達成	達成

◆(再掲)「日本一の猛暑のまち」の観光施策展開【観光推進課】

観光客の猛暑対策や「日本一の猛暑のまち」のイメージを生かした観光事業を行います。

共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業参加者数	-	200 人
Output	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業数	-	1 件

◆市内人工林の整備【産業振興課】

森林の公益的機能を保全するため森林の間伐等による整備を進めます。

共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	山地災害件数	0 件	0 件
Output	市内人工林の整備面積	10.06ha	10.06ha

施策 29

基本目標 4 持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

人材育成・登用・働き方改革



◆積極的な職員採用【総務課】

就職説明会やインターンシップ、試験内容の多様化、キャリア採用、面接重視などを通じ優秀で多様な人材の積極的な職員採用を実現します。

共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一般事務(大卒程度)採用試験の募集人数に対する応募者数の比率(試験倍率)	75 倍	100 倍
Output	就職説明会の開催及び参加回数	6 回	10 回

◆人材育成方針に基づく時代に即した人材の育成【総務課】

研修制度や人事評価制度の改善を図り、本市職員としての意識の醸成、自ら学ぶ意欲を高め組織の活性化に努めます。

共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市職員の対応や仕事に対する姿勢への「満足度」	84.5%	90.0%
Output	しなやか研修参加者数	21 人	30 人

◆働き方改革【総務課】

子育て世代をはじめ全職員が安心して働ける職場づくりを目指して、育児休業の取得促進や残業の抑制などを図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	男性の育児休業取得率	76.9%	100%
Output	配偶者が出産した男性職員の育児休業制度オリエンテーションの参加率	84.6%	100%

◆人事交流による組織の活性化【総務課】

専門性をもった外部人材等、多様な人材の確保、外部人材との交流による組織の活性化に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】市職員の対応や仕事に対する姿勢への「満足度」	84.5%	90.0%
Output	人事交流数	4人	4人

施策 30

基本目標 4 持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

公共施設の多面的活用



◆公共施設の再編、運営の見直し【管財課】

公共施設の統合・再編を進め、あわせて多面的活用の検討を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	再編した公共施設の数	4施設	8施設
Output	進捗状況	30.0%	60.0%

◆いきいき情報センターの活用促進【文化学習課】

いきいき情報センターの空きスペースの活用促進や再編案の検討を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	賃貸借事業者数	3事業者	5事業者
Output	施設の再編活用案の検討	未実施	実施

◆とびうめアリーナの利用促進【スポーツ課】

10周年イベントなど魅力的な事業を検討し多面的活用を行うことで今後の利用促進を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	とびうめアリーナ利用者数	123,572人	175,000人
Output	大規模イベントの開催	-	実施

◆太宰府館の活用促進【観光推進課】

太宰府館の計画的な改修、民間活力導入も含めた運営手法を検討し、より効果的な活用促進を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	民間活力導入に向けた計画の作成	未達成	達成
Output	太宰府館の民間活力導入進捗度	-	100%

◆公園の多面的活用促進【建設課】

従来の公園としての機能に加え地域のニーズに即した多面的活用を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	地域主体の公園利用、維持管理	-	
Output	自治会等への公園ニーズ調査の実施	未実施	実施

◆公民館の多面的活用促進【文化学習課】

従来の公民館としての機能に加え地域のニーズに即した多面的活用を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	公民館に地域のニーズに即した多面的機能を持たせる	-	
Output	公民館としての機能に加え地域のニーズに即した多面的活用利用調査の実施	未実施	実施



◆ネーミングライツ制度の検討【経営企画課】

公共施設等資産の有効活用による財源の確保策としてネーミングライツ制度の導入を検討します。

	危	子	交
共			
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ネーミングライツ導入施設数	0 箇所	2 箇所
Output	ネーミングライツ制度の導入	未導入	導入

◆財政負担軽減に寄与する業務改善【経営企画課】

市外者料金設定など歳入増加策や財政負担軽減に寄与する業務改善策を積極的に検討します。

	危	子	交
共			
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	財政負担軽減に寄与する業務数（累計）	-	10 件

◆普通財産の有効活用【管財課】

普通財産である市有地などの有効活用を図る観点から有償で貸付を行い、財源確保を図ります。

	危	子	交
共			
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	普通財産貸付箇所総面積（電柱及び支線等を除く）	3,235 m ²	3,500 m ²
Output	貸付箇所数（電柱及び支線等を除く）	8 箇所	10 箇所

施策 32

基本目標 4 持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

環境負荷軽減の促進



◆ごみの削減【環境課】

環境保全やごみの処理費削減のため、ごみの排出削減や資源化率の向上等に努めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一人あたり燃えるごみ排出量(1日)	617 g	585 g
Output	生ごみ処理機購入補助金交付件数	58 件	毎年一定数 (50 件)を維持

◆ゼロカーボンシティの推進【環境課】

市内の温室効果ガスの排出量の削減を推進し、地球温暖化対策の取組を進めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	温室効果ガス排出量	203 千 t-CO2 (R3 年度)	174 千 t-CO2 (R9 年度)
Output	地球温暖化対策推進補助金交付件数	71 件	200 件

施策 33

基本目標 4 持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

窓口機能の充実・強化等市民生活の向上



◆(再掲)DXの推進【文書情報課】

地域課題、行政課題に DX を活用し課題の解決に取り組みます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	導入した件数(累計)	-	10 件
Output	課題解決に向け検討した件数(累計)	-	20 件

◆マイナンバーカード利用による手続き推進【市民課】

マイナンバーカード利用による行かない窓口・書かない窓口を目指します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ワンストップ転出利用率	12.2%	30.0%
	ワンストップ転入利用率	13.8%	30.0%
Output	マイナンバーカード保有率	74.2%	90.0%

◆市役所機構改革の検討【経営企画課】

時代性や市民ニーズに即した全体最適化を図るための機構改革を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	機構改革の実施（累計）	0回	2回

◆(再掲)魅力や愛着を高める「だざいふ」ならではの情報発信

【経営企画課】

だざいふファンを獲得するための「魅力や愛着を高める情報」、市民生活を豊かにするための「暮らしに必要な情報」を戦略的・効果的に発信します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の情報を得ている媒体／情報を得ていない人の割合	7.4%	5.0%
Output	情報発信に関するニーズ分析の実施(累計)	-	1回
Outcome	令和発祥の都サイト（観光・文化財）アクセス数	692,000PV	700,000PV
Output	市ホームページ（観光・文化財）評価「皆さまのご意見をお聞かせください」の分析によるアドバイス	-	年1回

市政積年のもしくは社会先進的な5つの課題から捉えた体系

柱1

危機管理の徹底強化

柱2

子どもまんなかの施策展開

柱3

市民と交流人口・関係人口の相互発展

底流1

新しい公共をテーマとした仕組みづくり

底流2

歳出入一体改革の推進

○第2期総合戦略の基本目標

第2期総合戦略では次の4つを基本目標として取組を進めています。関連する4つの基本目標を示すアイコンを付しています。

アイコン

太宰府の底力総発揮
構想（成長戦略）

成

民間活力の活用を始めあらゆる手段を知恵を駆使して総結集し、本市が本来の底力を遺憾なく発揮することで、「令和発祥の都」としてさらに羽ばたき、我が国そして地方の牽引役にふさわしい役割を果たします。

太宰府型全世代居場所と
出番構想
（移住定住戦略）

移

かつてこの地が舞台となった万葉集の精神にもならい、全世代が居場所と出番を持てる本市ならではの心温まるまちづくりを進めることで、日本一住みやすく世界一元気な都を目指します。

令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想
（圏域拡大戦略）

圏

時空を超えてこの地を捉え直し、令和発祥の都にふさわしい大きな視点で史跡の維持保存・活用や国際交流、地域間連携を考えることで、交流人口、関係人口の拡大による経済効果上昇や交通手段の充実に踏み出します。

1300年の歴史に思いを
致す持続可能な太宰府構
想（行財政改革戦略）

行

本市ならではの防災力の強化、市街地の活性化、公共施設や諸団体などの再編、見直し、地域コミュニティの強化・再編、ごみ減量を始めとする環境負荷低減、ICT活用などによる行財政改革を進め、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

柱 1

危機管理の徹底強化

1 基本的方向

これからの時代は、常に災害や犯罪などの危機があると認識し、大規模な自然災害などから市民や観光客などの生命財産を守るために体制整備・訓練・情報発信などを強化していきます。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 市政への信頼に対する評価「肯定派」の割合	73.9%	78.0%

3 具体的な施策

施策 01	柱 1 危機管理の徹底強化	成	移	圏	行
	危機管理の徹底強化による 安心・安全のまちづくり	11 防災・危機管理 まちづくり	17 防災・危機管理 まちづくり		

◆防犯力の向上【防災安全課】

防犯力の向上を目指し、地域見守りカメラの増設や地域パトロールの実施、防犯対策補助制度の創設検討を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	刑法犯認知件数（強盗、空き巣、忍込み、居空き）	16 件	10 件
Output	【市民意識調査】 防犯面について「安心派」の割合	66.6%	77.0%

◆道路冠水対策の推進【建設課】

アンダーパスなどに浸水感知センサーを設置し冠水予防、対策を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	冠水による事故件数	1 件	0 件
Output	浸水感知センサーの設置	地下道 7 箇所 冠水危険箇所 1 箇所	11 箇所

◆ため池の整備・改修【建設課】

ため池の劣化調査、耐震調査結果を受けて改修が必要なため池の工事を行い、安全維持に努めます。

	危	子	交
共	○	○	
改	○	○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ため池の安全維持	-	
Output	改修が必要なため池の工事	工事対象池数 2 池	工事完了池数 2 池

◆すぐやる班の推進【経営企画課】

市民ニーズに素早く対応するために、市で対応可能な作業や頻発する鳥獣被害対策を実行します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	すぐやる班の活動回数	437 回	800 回

◆消費者行政の充実【産業振興課】

消費生活相談体制を継続し市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	消費生活相談体制の維持	体制有り	維持
Output	出前講座実施回数	2 回	3 回

◆官民との連携強化【防災安全課】

国・県・警察・消防・区自治会・他関係団体との連携を強化し、地域の交通安全や防犯など危機管理の徹底強化への取組を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	刑法犯認知件数（強盗、空き巣、忍込み、居空き）	16 件	10 件
Output	防犯講座への参加人数	300 人	500 人

◆官民との連携強化【防災安全課】

国・県・消防・警察・自衛隊・区自治会・民間企業との連携を強化し、平常時、非常時における防災・減災への啓発活動等を実施し、防災力の向上を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自主防災組織数	37 自治会	44 自治会
Output	防災訓練等啓発の回数	1 回	2 回

◆クーリングシェルターの設置促進【防災安全課】

民間施設も含めたクーリングシェルターの設置拡大を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	熱中症による救急搬送件数	69 人	69 人以下
Output	指定施設数	-	30 施設

◆防災意識の高揚【防災安全課】

市民の防災意識の高揚を図るため、防災講座を実施し各家庭における食料備蓄を促進します。

	危	子	交
共	○	○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 3 日分程度の食料・飲料を備蓄している人の割合	43.4%	55.0%
Output	防災講座の回数	30 回	30 回

◆観光客・参拝客災害への対応【観光推進課】

近隣自治体、観光事業者や地域と連携し、災害等対応についてのガイドラインの整備や定期的な避難訓練等の実施を検討します。

	危	子	交
共	○		○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	観光危機管理マニュアルの作成	未達成	達成

◆「日本一の猛暑のまち」の観光施策展開【観光推進課】

観光客の猛暑対策や「日本一の猛暑のまち」のイメージを生かした観光事業を行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業参加者数	-	200 人
Output	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業数	-	1 件

◆市内人工林の整備【産業振興課】

森林の公益的機能を保全するため森林の間伐等による整備を進めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	山地災害件数	0 件	0 件
Output	市内人工林の整備面積	10.06ha	10.06ha

施策 03	柱1 危機管理の徹底強化	成	移	圏	行
	環境負荷軽減の促進	11 石の産地から 資源の活用を 推進する	12 つくば市は 資源の活用を 推進する	13 環境負荷に 対応する	

◆ごみの削減【環境課】

環境保全やごみの処理費削減のため、ごみの排出削減や資源化率の向上等に努めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一人あたり燃えるごみ排出量(1日)	617 g	585 g
Output	生ごみ処理機購入補助金交付件数	58 件	毎年一定数 (50 件)を維持

◆ゼロカーボンシティの推進【環境課】

市内の温室効果ガスの排出量の削減を推進し、地球温暖化対策の取組を進めます。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	温室効果ガス排出量	203 千 t-CO2 (R3 年度)	174 千 t-CO2 (R9 年度)
Output	地球温暖化対策推進補助金交付件数	71 件	200 件

柱2

子どもまんなかの施策展開

1 基本的方向

子どもを令和の都だざいふの宝としてまんなかに位置付け、いきることをサポートし、すくすくのびのびと成長できるよう、更なる居場所や出番づくりなど子ども施策を推進していきます。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.5%	77.0%

3 具体的な施策

施策 04	柱2 子どもまんなかの施策展開	成	移	圏	行
	子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	4 育の場を広げ、 めざすに	11 子育て支援の場を 広げよう	17 子育て支援の場を 広げよう	17 子育て支援の場を 広げよう

◆子育てしやすい環境整備と子育て支援事業の拡充【子育て支援課】

子育て支援の充実を図り、親が安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進します。

危	子	交
共	○	○
改	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.5%	77.0%
Output	子育て講座参加人数	240 人	240 人
	ファミリー・サポート・センター事業活用回数	241 回	550 回

◆完全給食の着実な実施と費用負担支援【学校教育課】

小中学生の完全給食を着実に実施し育ち盛りの栄養補給を担保するとともに給食費の負担を支援し食材の質を維持しつつ子育ての負担を軽減します。

危	子	交
共	○	○
改	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	給食費の助成	実施	実施

◆保育サービスの充実【保育児童課】

多様な働き方やライフスタイルなど様々なニーズに対応し、全ての子ども
の育ちを応援するため保育サービスの充実に努めます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	保育所利用待機児童数（4月1日現在）	0人	0人
Output	保育所入所定員数（4月1日現在）	1,577人	1,601人
Outcome	学童保育所利用待機児童数（4月1日現在）	0人	0人
Output	学童保育所入所定員数（4月1日現在）	900人	955人
Outcome	こども誰でも通園制度の実施施設数	-	2園
Output	こども誰でも通園制度の実施	-	実施

◆学校・家庭・地域の三者協働による共育活動の充実【学校教育課】

各中学校ブロック単位で小中連携を生かしたコミュニティ・スクールの
推進に努めます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	コミュニティ・スクール推進の進捗状況評価の総合評価	3.15	3.3
Output	研修会の実施	2回	2回

◆大学や民間等の教育的資源を生かした教育活動の充実【学校教育課】

学校教育充実のため、本市に所在する大学や民間事業者・施設等
の教育的資源を積極的に活用します。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	大学生ボランティア参加大学数（市外含む）	3校	3校
Output	教育分野で大学と連携している事業数	6事業	6事業
	授業において民間プールを活用した学校数	3校	11校

◆学校教育環境の整備・充実【学校教育課】

新しい教育課程や本市の教育課題へ対応するため、教育環境の整備に
努めます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ICT環境整備の進捗状況評価の総合得点	4.53	4.8
Output	ICT支援員による授業支援及び校務支援数	4,358回	4,800回

◆放課後子ども教室の拡充【社会教育課】

地域と家庭による学校を拠点とした放課後の子どもの居場所づくりを進めます。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	参加児童数（のべ人数）	983 人	1,500 人
Output	実施校数	3 校	7 校

◆全ての子育て世帯への切れ目のない支援【子育て支援課】

全ての妊産婦・子育て世帯・子どもに対しこども家庭センターにおける相談支援事業を通して必要な支援につなげます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 子育てをしやすいと感じる保護者の割合	72.5%	77.0%
Output	産後ケア事業の利用率	21.2%	40.0%
	子育て世帯訪問支援事業の利用世帯数	4 世帯	25 世帯

◆ひとり親家庭の支援【保育児童課】

ひとり親家庭の生活の安定につながる取組を実施し、自立の促進を図ります。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金の利用者数	6 人	18 人
Output	周知回数（広報掲載等）	1 回	2 回

施策
05

柱2 子どもまんなかの施策展開

世界に羽ばたく人材育成

成 移 圏 行



◆子ども・学生未来会議の実施【社会教育課】

小・中学校の児童生徒から地域課題解決につながる提案を受け、子ども・学生未来会議の場などで議論し実行するプロジェクトを実施します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	実施する提案数	-	3 件
Output	提案数	-	11 件

◆学生まちづくり課題解決プロジェクトの実施【国際・交流課】

地域課題を解決するために、学生が中心となり、地域住民との連携を深めながら実践的なまちづくりの提案や活動を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	実施する提案数	-	15 件
Output	課題解決プロジェクト応募者数	-	20 チーム

◆子ども学生美術展の実施【国際・交流課】

太宰府市内外問わず子ども、学生が日頃の学びや創造力を発揮し、地域社会とつながる機会を提供します。

	危	子	交
共		○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	展示作品数	52 点	100 点
Output	子ども学生美術展応募者数	860 人	1,000 人

◆世界に羽ばたく人材育成表彰の実施【総務課】

文化、芸術、スポーツなど、あらゆる分野において顕著な功績があった若者を表彰することで、次代を担う若い才能の育成を図ります。

	危	子	交
共		○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	全国大会以上の大会で顕著な成績を収めた人（団体）数	44 人（団体）	250 人（団体）
Output	表彰者延べ人（団体）数	108 人（団体）	600 人（団体）

◆九州国立博物館と連携した学習の推進【学校教育課】

小・中学生に本市が誇る九州国立博物館の特別展を観覧する機会を設け、グローバルな視点をもった子どもを育てます。

	危	子	交
共		○	
改		○	

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	九州国立博物館に招待した児童生徒数の割合	-	24.0%
Output	九州国立博物館への招待実施回数	-	11 回

◆STEAM 教育等の実施【社会教育課】

民間や大学等の活力を生かし、STEAM 教育等の実施を支援します。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	参加者数（のべ人数）	342 人	400 人
Output	実施回数	37 回	40 回

**施策
06**

柱 2 子どもまんなかの施策展開
スポーツ・文化・芸術の推進

成

移

圏

行

3

4

11

17

◆太宰府市スポーツ推進計画の改定【スポーツ課】

子どもから高齢者まで誰もがスポーツを気軽に楽しみ生きがいづくりにつながる生涯スポーツの実現を図るため、スポーツ推進計画を見直し、スポーツ施策を推進します。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 週 1 回以上のスポーツの実施率	47.6%	65.0%
Output	スポーツの日行事参加者数	2,322 人	3,500 人

◆スポーツ施設の老朽化対策【スポーツ課】

スポーツ施設の適切な維持管理と計画的な施設整備のためスポーツ施設個別計画の見直しを行うなど施設の老朽化対策を実施します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	スポーツ施設の利用人数	423,949 人	540,000 人
Output	修繕・改修した施設数	6 施設	9 施設

◆文化芸術に触れる機会の提供【文化学習課】

文化芸術振興事業により市民の文化芸術に関する関心度の向上を目指します。

	危	子	交
共		○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	音楽会、講演会等主催事業来場者数	2,032 人	3,000 人
Output	音楽会、講演会等主催事業開催回数	5 回	6 回

◆郷土愛の醸成【文化財課】

小・中学校で歴史や文化、市民遺産などに関する授業の実施や職場体験、史跡見学を受け入れ、郷土愛を醸成します。

	危	子	交
共		○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	大宰府展示館・水城館の小・中学生の入館者数	4,470 人	4,800 人
Output	市内小・中学校の授業実施・職場体験、史跡見学の受け入れ件数	9 件	15 件

柱3

市民と交流人口・関係人口の相互発展

1 基本的方向

住まう人も訪れる人もともに慶び合えるまちとして、交流人口・関係人口からの経済税収効果を飛躍的に高め、市民メリットを体感できる仕組みを創っていきます。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
域内付加価値額	53,329 百万円(R3)	58,000 百万円

3 具体的な施策

施策 07	柱3 市民と交流人口・関係人口の相互発展	成	移	圏	行
	市民と交流人口・関係人口の相互発展による 経済税収効果の向上	8 観光客の増加 経済税収の向上	12 観光客の増加 経済税収の向上		

◆周遊ルート・体験型コンテンツの造成・整備【観光推進課】

観光客がだざいふのファンとして何度も訪れたいと感じるような工夫を凝らした周遊ルートの造成や体験型コンテンツの造成、整備を進めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	リピート率	54.4%	58.5%
Output	ルート設定数	15 件	25 件
	体験プログラム造成・整備件数	10 件	15 件

◆滞在型観光コンテンツの充実【観光推進課】

ナイトタイムエコノミー・朝活等の様々な時間帯での受け皿となる観光コンテンツの充実を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	年間宿泊者数	43,622 人	50,000 人
	平均滞在時間	174 分	210 分
	観光消費額単価	4,600 円	5,700 円
Output	観光客向け体験プログラム数	10 件	15 件

◆令和の都だざいふ「梅」プロジェクトの推進【産業振興課】

令和の都だざいふ梅プロジェクトを通じて真の梅のまちとしての認知度

・魅力向上を図り観光誘客を進めます。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	梅プロジェクト製品数	27 製品	32 製品
Output	梅プロジェクト製品販売事業者数	18 事業者	21 事業者

施策
08

柱3 市民と交流人口・関係人口の相互発展

ニューだざいふ型市街地の活性化



◆西鉄五条駅周辺の整備促進等事業の推進【都市計画課】

西鉄五条駅周辺の活性化に向け、持続可能な都市構造への転換を図り

「コンパクトなまちづくり」を実現するための事業を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人の割合	74.8%	80.0%
Output	西鉄五条駅周辺の活性化に向けた事業の推進	未着手	着手

◆駅周辺の事業計画に基づく道路改良、駅前広場の改修【建設課】

駅周辺の活性化のための道路改良、駅前広場の改修を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	道路、駅前広場の改修	未着手	着手

◆都市計画マスタープランの改定業務【都市計画課】

社会状況の変化に対応し将来に向けて自立持続可能性をより高めるため、立地適正化計画など関連計画との整合性を保ち都市計画マスタープランの改定に取り組みます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人の割合	74.8%	80.0%
Output	第2次太宰府市都市計画マスタープランの改定	未実施	実施

◆立地適正化計画による届出制度の活用【都市計画課】

立地適正化計画による届出制度を活用し、都市機能の維持・充実を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	各拠点における都市機能数	34 機能	35 機能
Output	立地適正化計画による届出制度の受付	未実施	実施

施策 09	柱3 市民と交流人口・関係人口の相互発展
	観光産業の更なる振興



◆インバウンドの誘致【観光推進課】

従来の東アジアに加え日本文化体験のニーズが高い欧米豪や東南アジア等をターゲットにプロモーションの強化、体験型コンテンツの造成などのインバウンドの誘致を推進します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	観光案内所への外国人旅行者来訪者数	21,328 人	26,000 人
Output	海外向け観光情報発信機会数	-	25 件

◆ユニバーサルツーリズムの推進【観光推進課】

観光施設等におけるバリアフリー対応や各種案内の多言語化、バリアフリー情報の発信等の取組を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内民間施設が高齢者や障がい者などに対して「配慮している」と思う人の割合	27.7%	35.0%
Output	ふくおかバリアフリーマップ登録スポット数	91 件	120 件

◆市民・市民団体の観光施策への参画【観光推進課】

地域の魅力発信ガイドや体験コンテンツ、観光イベントへの参画を通して、市民の生きがい・郷土愛の醸成を図ります。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントへの参加者数	3,024人	3,300人
Output	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントの実施回数	229件	250件

◆魅力や愛着を高める「だざいふ」ならではの情報発信【経営企画課】

だざいふファンを獲得するための「魅力や愛着を高める情報」、市民生活を豊かにするための「暮らしに必要な情報」を戦略的・効果的に発信します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の情報を得ている媒体／情報を得ていない人の割合	7.4%	5.0%
Output	情報発信に関するニーズ分析の実施(累計)	-	1回
Outcome	令和発祥の都サイト(観光・文化財)アクセス数	692,000PV	700,000PV
Output	市ホームページ(観光・文化財)評価「皆さまのご意見をお聞かせください」の分析によるアドバイス	-	年1回

施策 10	柱3 市民と交流人口・関係人口の相互発展	成	移	圏	行
	オーバーツーリズム対策	8 観光客の受け入れ環境整備	9 観光客の受け入れ環境整備	11 観光客の受け入れ環境整備	

◆「だざいふ版ツーリストシップ」の普及啓発・受け入れ環境整備【観光推進課】

市民と交流人口関係人口の相互発展の視点からだざいふ観光のマナー、観光客を受け入れる際の心構えを示した「だざいふ版ツーリストシップ」の普及啓発を行うとともに観光客と地域住民の共存に向けた取組を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 観光客の来訪に対して「好ましい」と思う人の割合	82.8%	90.0%
Output	オーバーツーリズム対策事業回数(累計)	-	10回
	マナー啓発リーフレットの配布部数	-	40,000部

◆観光客・参拝客渋滞対策の推進【観光推進課】

行楽シーズンや年末年始等、交通渋滞が予想される時期に観光客・参拝客の交通誘導や観光分散化の取組を推進します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	観光客渋滞対策事業数（累計）	5 回	25 回

◆レンタサイクルなどによる観光周遊環境の整備【観光推進課】

ゆったりと観光周遊を行うことができるレンタサイクルなどを活用した観光周遊環境の整備を行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	レンタサイクル年間利用台数	1,327 台	1,500 台
Output	レンタサイクルポート数	1 箇所	5 箇所

◆交通需要の適切な管理【都市計画課】

市民生活と観光振興の両立を図るため、市民の移動手段を確保しながら観光客をターゲットとした利用者と収益増につながる交通需要の適切な管理手法を検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 観光客の来訪が「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と思う人の割合	48.2%	55.0%
Output	交通需要の適切な管理手法の検討	未実施	実施

◆交通情報案内システムの充実【都市計画課】

交通情報案内システムの内容を充実させ、来訪者の交通手段を公共交通機関に促すことで渋滞の緩和を目指します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	交通情報案内システムアクセス数	2,666,421PV	3,500,000PV

◆MaaS の活用促進【都市計画課】

複数の交通手段を組み合わせ、日常生活で利用しやすい企画乗車券を開発し公共交通利用者の増加を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 外出時の移動手段が「公共交通」の人の割合	10.0%	15.0%
Output	企画乗車券開発数（累計）	0 件	5 件

◆史跡の回遊性向上【文化財課】

観光客が集中している太宰府天満宮、九州国立博物館から大宰府政庁跡、客館跡、大宰府展示館、水城館、文化ふれあい館などへの観光客の回遊性向上を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	大宰府展示館・水城館・文化ふれあい館入館者数	43,375 人	45,000 人
Output	大宰府展示館・水城館・文化ふれあい館実施事業件数	32 件	32 件

施策 11	柱3 市民と交流人口・関係人口の相互発展	成	移	圏	行
	交通環境の再構築	9 公共交通機関の 利用を促す	11 公共交通機関の 利用を促す		

◆持続可能な地域公共交通の提供確保【都市計画課】

地域公共交通が、持続可能で利便性を維持・向上した移動手段となることを目指します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	移動に対する利便性の維持・向上	-	
Output	【市民意識調査】 市内のバスの利便性、鉄道の利便性、コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価の「肯定派」	バス：40.9%	40.9%以上を維持
		鉄道：68.5%	68.5%以上を維持
		コミュニティバス：35.9%	35.9%以上を維持

◆道路ネットワークの充実【都市計画課】

交通混雑解消のため、都市計画道路を含む幹線道路等の整備について関係機関との連携を進めるとともに、ボトルネックとなる箇所の改良を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	県道筑紫野古賀線の太宰府市工区内の整備延長	4車改良工事中 2,200m (全長 4,500m)	4車早期完成を 目指す 2,200m (全長 4,500m)
	ボトルネック箇所の改良箇所数(累計)	1箇所	2箇所

◆自転車等の活用推進【都市計画課】

自転車活用推進法に基づき、安全で快適な自転車通行空間等の整備及び自転車の活用を推進する取組を加速させるため、計画策定の検討を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 外出時の移動手段のうち「自転車」の割合	6.4%	10.0%
Output	自転車ネットワーク計画、自転車活用推進計画策定	未策定	策定

◆(再掲)交通情報案内システムの充実【都市計画課】

交通情報案内システムの内容を充実させ、本市へ来訪される方の交通手段を公共交通機関に転換を促すことで、渋滞の緩和を目指します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市内の道路の円滑化に対する評価の「肯定派」	52.4%	60.0%
Output	交通情報案内システムアクセス数	2,666,421PV	3,500,000PV

◆主要交差点の改良【建設課】

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

交通渋滞の原因となっている主要な交差点の改良を行います。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	渋滞緩和、交通の円滑化、安全対策	-	
Output	右左折レーンの設置等	0 箇所	1 箇所

◆(再掲)レンタサイクルなどによる観光周遊環境の整備

【観光推進課】

	危	子	交
共			○
改			○

渋滞に巻き込まれず、観光周遊を行うことができるレンタサイクルを活用した観光周遊環境の整備を行います。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	レンタサイクル年間利用台数	1,327 台	1,500 台
Output	レンタサイクルポート数	1 箇所	5 箇所

底流 1

新しい公共をテーマとした仕組みづくり

1 基本的方向

自治会、関係機関、各分野の団体などと防災や福祉、教育など様々なニーズや課題を持ち寄り、対話を重ね、役割を明確にし、課題解決を図る仕組みづくりを創っていきます。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 住みやすいと感じる市民の割合	79.3%	82.0%

3 具体的な施策

施策 12	底流 1 新しい公共をテーマとした仕組みづくり	成	移	圏	行
	新しい公共の観点による 市民参加、地域コミュニティの活性化	11 この目標はあきらめずに取り組む	17 この目標はあきらめずに取り組む		

◆新しい公共座談会の実施【経営企画課】

市政やまちづくりについて、市民と意見交換を行い率直な意見や提言を市政運営に反映させます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	新しい公共座談会の実施	実施	実施

◆自治協議会、ボランティア団体、NPO法人等との連携強化

【地域コミュニティ課】

校区自治協議会、社会福祉協議会、小・中学校、ボランティア団体、NPO法人等と情報共有を行い連携することで地域課題解決を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 自治会活動・校区自治協議会活動「参加派」の割合	31.8%	50.0%
Output	自治協議会と他団体との連携事業数	5 事業	12 事業

◆自治会DXの推進【地域コミュニティ課】

自治会 DX を進め自治会活動の効率活性化、負担軽減を図り持続可能な自治会運営を支援します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自治会加入率	92.6%	94.0%
Output	ホームページ開設自治会数	5 自治会	30 自治会

◆放課後子ども教室の拡充【社会教育課】

地域コーディネーターが主体となって、学校と協力しながら放課後子ども教室の拡充を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	参加児童数（のべ人数）	983 人	1,500 人
Output	実施校数	3 校	7 校

◆キャンパスネットワークを中心とした連携【国際・交流課】

キャンパスネットワーク会議学生連絡会学生を中心に学生と市長の意見交換会などを通じて本市への関心を深めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	キャンパスネットワーク会議学生連絡会事業に参加する学生数	68 人	100 人
Output	学生と市民の交流事業回数	1 回	6 回

キャンパスネットワーク会議を中心としただざいふ遊学プロジェクトなどの高大連携事業の強化を更に行います。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	高大連携事業参加校	2 校	9 校
	高大連携事業参加者数	47 人	100 人
Output	大学の教員や学生が高校で特別授業を実施、部活動をサポートする機会の提供回数	1 回	10 回

◆(再掲)市民・市民団体の観光施策への参画【観光推進課】

地域の魅力発信ガイドや体験コンテンツ、観光イベントへの参画を通して、市民の生きがい・郷土愛の醸成を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントへの参加者数	3,024 人	3,300 人
Output	市民・市民団体が提供する体験コンテンツやイベントの実施回数	229 件	250 件

施策 13	底流 1 新しい公共をテーマとした仕組みづくり	成	移	圏	行
	高齢者の活躍促進	3 すくすくふに 健康を築こう	11 社会福祉の未来 を共に作り出す	17 「ハート・マインド・ スキル」を磨こう	

◆高齢者の就労促進【福祉課】

シルバー人材センターへの支援や県の就労支援団体と連携し、高齢者の就業に関する事業周知や相談会を行い高齢者の就労促進を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	シルバー人材センター就労数（のべ人数）	23,062 人	24,500 人
Output	就労に関する事業や相談会の開催・周知回数	2 回	2 回

◆敬老事業【高齢者支援課】

長きにわたり地域の発展にご尽力いただいた高齢者の皆様に敬意を表すための敬老事業を継続して実施します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	敬老事業	実施	実施

◆長寿クラブ活動支援【高齢者支援課】

長寿クラブ連合会と連携し、団塊の世代層に地域参加・共助社会の重要性について理解を広め更なる組織の活性化を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	長寿クラブ連合会会員数	1,029 人	1,200 人
Output	単位クラブ設立に向けた相談の回数	1 回	6 回

◆がん検診の受診率向上【元気づくり課】

がん検診の受診率向上のための取組を行い、がんの早期発見・早期治療により市民の健康寿命を延ばします。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 健康状態が良好な人の割合	83.9%	85.0%
Output	がん検診受診率	6.4%	10.0%
	がん検診精密検査未受診勧奨者の割合	100%	100%

◆健康を支える環境の整備【元気づくり課】

健康状態を記録できる仕組みを導入し、健康づくりに有効な情報発信を行い、健(検)診率の向上を図ります。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 健康状態が良好な人の割合	83.9%	85.0%
Output	健康支援のためのアプリ導入と啓発	-	R11年までの 早期に導入

◆国保被保険者への特定健康診査・特定保健指導の推進【国保年金課】

40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査受診率や特定保健指導実施（終了）率を向上させる取組を実施し生活習慣病の発症や重症化予防を図ります。

	危	子	交
共	○		
改	○		

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	特定健診受診率	37.5%	42.0%
Output	特定健診通知勧奨率	100%	100%
Outcome	特定保健指導終了率	65.6%	79.0%
Output	保健指導実施率	95.3%	100%

◆介護予防の推進【高齢者支援課】

地域の通いの場や介護予防教室を通じて介護予防を推進し、健康寿命の延伸を図ります。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【地域包括ケア構築に向けた高齢者実態調査】 介護予防に取り組んでいない人の割合	20.1% (R4 年度)	15.0% (R10 年度)
Output	通いの場の実施個所数	81 個所	90 個所

施策 16	底流 1 新しい公共をテーマとした仕組みづくり	成	移	圏	行
	居場所づくりの推進	4 第四期（令和5年度） あふれんぼ	5 第五期（令和6年度） あふれんぼ	10 第十期（令和10年度） あふれんぼ	

◆不登校対策【学校教育課】

校内に設置したサポートルームなど不登校児童生徒の居場所づくりを進め、安心できる学校づくりを進めます。

	危	子	交
共		○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	不登校児童生徒の復帰率（小学生）	39.7%	40.0%
	不登校児童生徒の復帰率（中学生）	35.1%	37.0%
Output	不登校対策事業数	5 事業	6 事業

◆ひきこもり対策【生活支援課】

ひきこもり者やその家族に対し、孤独感を減らし、自らの意欲や自信を取り戻して社会参加や就労等に結び付くための支援を進めます。

	危	子	交
共		○	
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ひきこもり支援に繋げるための居場所づくり	-	3 箇所
Output	ひきこもり者や家族からの相談件数	4 件	4 件

◆いきいき情報センターの充実【文化学習課】

全世代が交流しながらつながりを持って支え合う全世代交流型施設の充実を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	全世代交流フリースペース利用者数	30,931 人	35,000 人
Output	全世代交流フリースペース座席数	53 席	76 席

◆市民の森の整備【産業振興課】

四王寺山（市民の森）環境整備計画に掲げる施策の実現に向けて取組を進めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市民の森の平均利用頻度	-	月 1 回
Output	四王寺山（市民の森）環境整備計画に掲げる 6 事業の実施数	3 事業	6 事業

◆校区自治協議会事業の活性化【地域コミュニティ課】

校区自治協議会や各委員会において地域の課題や問題点の情報共有を行い、地域の特性に合わせた世代交流事業の活性化を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 自治会活動・校区自治協議会活動「参加派」の割合	31.8%	50.0%
Output	校区自治協議会による地域活動数	39 件	46 件

◆公共施設活用の検討【管財課】

公共施設を活用した全世代交流の場所や機会の提供を検討します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	-
Output	活用可能な施設数	1 施設	1 施設以上

◆人権尊重のまちづくりの推進【人権政策課・社会教育課】

全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人が尊重され、いきいきと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを引き続き推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 あらゆる人権が尊重されていると思う人の割合	78.5%	81.5%
Output	市民講演会参加者数	181 人	300 人
	人権講座「ひまわり」の参加者数	534 人	700 人

◆男女共同参画プランの推進【人権政策課】

だれもが個性と能力を発揮できる社会を実現するため、男女共同参画意識の向上に取り組みます。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 固定的な役割分担に「非同意派」の人の割合	76.6%	80.0%
Output	講演会等の開催数（男女共同参画推進センタールミナス主催分含む）	4 回	4 回

◆障がい者を理由とする差別解消の推進【福祉課】

障害者差別解消法に基づき、不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 あらゆる人権が尊重されていると思う人の割合	78.5%	81.5%
Output	障害者差別解消法職員研修開催数	1 回	1 回

◆バリアフリーの推進【福祉課】

障がいのある人もない人も分け隔てなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きていく社会の実現に向けた取組を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改			

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 あらゆる人権が尊重されていると思う人の割合	78.5%	81.5%
Output	障害者差別解消法職員研修開催数	1回	1回

**施策
19**

底流1 新しい公共をテーマとした仕組みづくり
令和の都の文化芸術振興

成

移

圏

行

11 公共空間の活用を推進する

17 国際交流の推進を図る

◆令和国際文化会議の開催【文化財課】

元号令和の由縁となった大伴旅人による梅花の宴を現代によみがえらせる国際的文化的会議を開催します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさの「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	会議の開催	1回	1回

◆観光関連における魅力を発信する人材の育成【観光推進課】

多言語対応、障がい者対応を含めた有償観光ガイドの育成及び登録制のガイド派遣システムの構築などについて検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	有償観光ガイド及び登録観光ガイドの人数	91人	100人
Output	有償観光ガイドの育成及び登録制のガイド派遣システムの構築の進捗度	-	100%

◆歴史、文化、芸術の観光交流への活用【観光推進課】

「令和」、「万葉」などの本市が有する歴史や文化・芸術を活用したイベントや体験型プログラム、まちあるきを実施するなど市民と観光客が触れ合う機会を提供します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	体験型プログラム・まちあるき事業等参加者数	2,862 人	3,000 人
Output	体験型プログラム・まちあるき事業等事業数	10 件	15 件

**施策
20**

底流 1 新しい公共をテーマとした仕組みづくり

史跡の保存・先進的多用途活用

成
移
圏
行

◆大宰府関連史跡の保存活用計画の策定【文化財課】

史跡の保存活用計画を策定し、適切な保存と先進的多用途活用を図ります。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	史跡保存活用計画の策定件数	2 件	5 件
Output	太宰府市史跡整備検討委員会の開催回数	-	3 回

◆大宰府関連史跡の整備・再整備の推進【文化財課】

大宰府関連史跡の整備・再整備を検討し、計画等の作成、整備事業を行います。

	危	子	交
共		○	○
改		○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	史跡整備計画の策定件数	0 件	1 件
Output	太宰府市史跡整備検討委員会の開催回数	-	3 回

◆史跡を活用した観光振興【観光推進課】

史跡を活用した観光コンテンツの開発やプロモーションを福岡県、関連自治体等と連携して行います。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	史跡を活用した（観光関連）体験・イベント参加者数	1,037 人	1,200 人
Output	史跡を活用した（観光関連）事業数（累計）	6 件	10 件

◆国・県・関係機関との連携推進【経営企画課】

広域的課題解決の推進のため、国や県など連携を進めるとともに必要な事項については積極的に要望を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	要望件数	-	必要に応じて

◆姉妹都市・友好都市等との連携【国際・交流課】

姉妹都市や友好都市等との交流や、市内大学と連携している国外大学との交流を促進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【姉妹校交流生徒や市内大学連携留学生へのアンケート】 異文化へ理解が深まったと思う人の割合	未実施	50.0%
Output	交流イベント、プロジェクト数	4回	10回
Outcome	【市民意識調査】 多賀城市との友好都市締結の認知度	22.7%	30%以上
	【市民意識調査】 奈良市との友好都市締結の認知度	18.0%	30%以上
	【市民意識調査】 中津市との友好都市締結の認知度	14.5%	30%以上
Output	友好都市との交流イベントの数	1回	5回

◆観光関連における国内外自治体等との連携・交流【観光推進課】

県や九州圏内の観光地、本市が長年交流を続けている友好都市や姉妹都市、近隣市町村や西鉄沿線の自治体等との連携を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	国内外自治体との連携・交流事業数（累計）	6件	11件
Output	連携・交流した国内外自治体数（累計）	66件	80件

底流 2

歳出入一体改革の推進

1 基本的方向

多様化し拡大する市民ニーズに応えつつ持続可能な行財政運営を堅持するため、歳出入一体改革を図っていきます。

2 基本目標に係る数値目標

内容	基準値(R5)	目標値(R11)
【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%

3 具体的な施策

施策 22	底流 2 歳出入一体改革の推進	成	移	圏	行
	戦略的まちづくりの推進	4 教育の質の向上 あふれに	8 暮らしの安心 安全を高める	11 国土強靱化の推進 防災・減災	17 持続可能なまちづくり

◆課題解決先進モデルの実現【経営企画課】

民間活力や資本を最大限活用して、最小の投資で最大の効果を上げる、課題解決先進モデルの実現を目指します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	包括連携協定締結数	7 社	14 社

◆ビジョン会議の活用【経営企画課】

市民をはじめ産官学等で構成されるまちづくりビジョン会議を活用しながら戦略的まちづくりを推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	まちづくりビジョン会議開催数	3 回	6 回

◆(再掲)すぐやる班の推進【経営企画課】

市民ニーズに素早く対応するために、市で対応可能な作業や頻発する鳥獣被害対策等を実行します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
Output	すぐやる班の活動回数	437 回	800 回

◆DX の推進【文書情報課】

地域課題、行政課題に DX を活用し課題の解決に取り組めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	導入した件数(累計)	-	10 件
Output	課題解決に向け検討した件数(累計)	-	20 件

◆令和の都だざいふ応援大使の活用【経営企画課】

令和の都だざいふ応援大使を活用し、あらゆる機会を通じたシティプロモーションを展開することで、本市の更なる魅力化、活性化につなげます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	市ホームページ総アクセス数	4,233,646PV	4,500,000PV
Output	令和の都だざいふ応援大使の活動回数	49 回	60 回

施策 23	底流 2 歳出入一体改革の推進	成	移	圏	行
	一体的情報発信の推進				

◆シティプロモーションの推進【経営企画課】

本市の強みである観光施策と文化財施策を融合した令和の都だざいふならではのシティプロモーションを行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の住みやすさ「満足派」の割合	79.3%	82.0%
	令和発祥の都サイト（観光・文化財）アクセス数	692,000PV	700,000PV
Output	キャラクターグッズの配付または SNS やデジタルサイネージなど様々な媒体での情報発信	-	

◆サイン統一に向けた検討【都市計画課】

歴史的観光都市に相応しい、安全で景観に配慮した公共サインの統一を検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	-	-	
Output	平成 20 年に作成した「歴史観光系公共サインガイドライン」の改定の検討	未実施	実施

◆新たな情報発信手段の検討・構築【経営企画課】

市政情報、観光情報、防災情報に加え、災害時における情報の発信も含めた一体的な情報発信について検討を行っていきます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の情報を得ている媒体／情報を得ていない人の割合	7.4%	5.0%
Output	新たな情報発信手段の件数	-	1 件



◆企業・商業施設等誘致の実現【産業振興課】

企業誘致戦略書に基づき地域課題解決に寄与する企業誘致及び市民生活利便性向上のために商業施設等の誘致を積極的に行い、地域の活性化と雇用、市税等の増加に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	企業・商業施設等誘致数(累計)	2 件	3 件
Output	企業・商業施設等商談数(累計)	2 件	10 件

◆起業・創業支援の拡充【産業振興課】

商工会等と連携し幅広い世代に向けて起業・創業支援の拡充を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	起業・創業者数	35 件	35 件
Output	創業者補助金補助件数	7 件	15 件

◆地場産業の育成・活性化【産業振興課】

商工会等と連携し地域の担い手である市内の中小企業、小規模企業者に支援を行います。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	中小企業事業資金融資額	390,502 千円	400,000 千円
Output	預託金貸付件数	37 件	37 件
	がんばる中小企業応援補助金補助件数	7 件	10 件

◆(再掲)令和の都だざいふ「梅」プロジェクトの推進【産業振興課】

梅製品のブランド価値を高めるため、梅の品質向上や収穫量の拡大に
努め、梅を活用したモノ・コト製品の開発を進めます。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	梅プロジェクト製品ふるさと納税額	10,966 千円	13,000 千円
Output	梅プロジェクト製品ふるさと納税返礼品年間平均登録数	14 製品	20 製品

◆(再掲)「日本一の猛暑のまち」の観光施策展開【観光推進課】

観光客の猛暑対策や「日本一の猛暑のまち」のイメージを生かした観光
事業を行います。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業参加者数	-	200 人
Output	「日本一の猛暑のまち」を生かした観光事業数	-	1 件

◆ふるさと納税返礼品の充実【経営企画課】

地場産品や体験型など魅力ある返礼品の開発や拡充に努めます。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ふるさと納税寄附額	1,838,282 千円	2,000,000 千円
Output	ふるさと納税返礼品数	1,044 品	1,300 品
	事業者商談数	208 件	250 件
	サイト掲載数	7 サイト	13 サイト

◆企業版ふるさと納税の活用【経営企画課】

本市のプロジェクトに賛同する企業と連携して地方創生の推進、財源の確保に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	企業版ふるさと納税寄附額	26,500 千円	30,000 千円
Output	企業版ふるさと納税寄附企業数（累計）	22 社	30 社
	企業商談数	-	5 件

施策 26	底流 2 歳出入一体改革の推進	成	移	圏	行
	多様な主体との連携強化	8	9	17	

◆商工会との連携【産業振興課】

商工会との連携を更に進め、市内商工業の振興に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	地域経済の成長、商業活動の活性化	-	
Output	商工会との定例会	12 回	12 回

◆地域関係団体との連携【観光推進課 他】

（一社）太宰府観光協会、太宰府天満宮、九州国立博物館等の地域関係団体と連携した事業を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	観光関係団体との連携事業数	8 件	10 件
Output	連携した観光関係団体数	11 件	16 件

公共施設の効果的な活用やニーズを捉えた観光コンテンツの造成・販売、観光環境整備等に民間活力を導入する等の観光振興事業を推進します。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	民間事業者との連携事業数	4 件	8 件
Output	連携した民間事業者数	10 件	15 件

学校・教育機関と連携した観光振興事業を推進します。

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	学校・教育機関との連携事業数	3 件	6 件
Output	連携した学校・教育機関数	3 件	6 件

◆DMO を含む自立型地域観光組織体制の検討【観光推進課】

本市の観光マーケティングを担い、自主財源での運用を前提とする
DMOを含めた自立型地域観光組織体制の整備を検討します。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自立型地域観光組織体制の検討	未設立	設立
Output	自立型地域観光組織体制検討進捗度	0%	100%

施策 27	底流 2 歳出入一体改革の推進	成	移	圏	行
	地域資源の活用	9 観光と自然環境の 連携をつなぐ	11 観光振興の推進 と地域活性化	17 ハード・ソフト両面 での観光振興	

◆空家等の既存ストック活用の仕組みづくり【都市計画課】

連携協定締結団体等と空家等の所有者をつなぐ場の提供を行い空家等の
既存ストックの活用につなげます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	空家等の活用件数（累計）	0 件	5 件
Output	連携協定締結団体等の相談会開催件数	26 回	30 回

◆地域等との連携強化【都市計画課】

市の空家等に関する対策について出前講座を通して区自治会や地域
団体等と対話し空家等に関する課題と活用の需要を把握します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	自治会等からの相談・活用件数	7 件	15 件
Output	自治会等への空家等出前講座開催件数	0 件	4 件

◆都市近郊農業の振興【産業振興課】

農家の持続的経営の確保や荒廃農地の解消のため、担い手の育成・確保を行うとともに、稲作と他作物を組み合わせた都市近郊型農業と地産地消の取組を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	地産地消推進補助金申請者数	35 名	40 名
Output	自己保全管理農地面積	297,397 ㎡	210,000 ㎡

◆有害鳥獣被害防止【産業振興課】

有害鳥獣捕獲活動などを継続して行い、有害鳥獣対策の強化を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	イノシシによる農地被害額	282,598 円	211,949 円
Output	イノシシの捕獲頭数	198 頭	250 頭

施策 28	底流 2 歳出入一体改革の推進	成	移	圏	行
	市民の雇用促進	1 高齢者 の雇用	8 働き方 改革推進	10 労働 環境改善	17 労働 市場の活性化

◆就労支援の促進【生活支援課】

一般就労に向けた準備が整っていない方の社会参加に向けた支援のため、就労準備支援制度の活用を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	就労準備支援事業の活用により一般就労についた件数（累計）	3 件	15 件
Output	就労準備支援制度利用者数	6 人	6 人

◆就労支援に関する障がい福祉サービスの充実【福祉課】

障がいのある人の社会的自立と安定した生活を目指し、自らの選択に基づいた就労支援に関する障がい福祉サービスの提供を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一般就労への移行者数	12 人	13 人
Output	障がい福祉サービス支給決定数（就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型）	406 サービス	697 サービス

◆就職氷河期世代対策【総務課】

市役所でのキャリア採用をはじめとした就職氷河期世代の雇用促進や所得、結婚、孤立孤独など多岐にわたる対策に努めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一般事務（キャリア枠）採用試験の募集人数	3人	5人
Output	就職説明会の開催及び参加回数	6回	10回

◆地域企業との連携【産業振興課】

地域の企業等と連携しつつ、市民の雇用拡大・促進に努めます。

	危	子	交
共			○
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	人材マッチングによる就労件数(累計)	-	10件
Output	地元企業との人材マッチング体制構築	-	構築

施策 29	底流 2 歳出入一体改革の推進	成	移	圏	行
	ふるさと納税の拡充	8 都市圏内 移住促進	9 都市圏内 移住促進	12 都市圏内 移住促進	

◆(再掲)ふるさと納税返礼品の充実【経営企画課】

地場産品や体験型など魅力ある返礼品の開発や拡充に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ふるさと納税寄附額	1,838,282 千円	2,000,000 千円
Output	ふるさと納税返礼品数	1,044 品	1,300 品
	事業者商談数	208 件	250 件
	サイト掲載数	7 サイト	13 サイト

◆(再掲)企業版ふるさと納税の活用【経営企画課】

本市のプロジェクトに賛同する企業と連携して地方創生の推進、財源の確保に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	企業版ふるさと納税寄附額	26,500 千円	30,000 千円
Output	企業版ふるさと納税寄附企業数（累計）	22 社	30 社
	企業商談数	-	5 件

◆ふるさと納税を活用した関係づくり【経営企画課】

ふるさと納税を契機としたプロモーションを通し関係人口や交流人口の拡大を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ふるさと納税寄附者数	164,112 人	180,000 人
Output	情報発信数	12 媒体	15 媒体
	プロモーションイベント数	1 回	2 回

施策 30 底流 2 歳出入一体改革の推進 人材育成・登用・働き方改革

成 移 圏 行



◆積極的な職員採用【総務課】

就職説明会やインターンシップ、試験内容の多様化、キャリア採用、面接重視などを通じ優秀で多様な人材の積極的な職員採用を実現します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	一般事務（大卒程度）採用試験の募集人数に対する応募者数の比率（試験倍率）	75 倍	100 倍
Output	就職説明会の開催及び参加回数	6 回	10 回

◆人材育成方針に基づく時代に即した人材の育成【総務課】

研修制度や人事評価制度の改善を図り、本市職員としての意識の醸成、自ら学ぶ意欲を高め組織の活性化に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】市職員の対応や仕事に対する姿勢への「満足度」	84.5%	90.0%
Output	しなやか研修参加者数	21 人	30 人

◆働き方改革【総務課】

子育て世代をはじめ全職員が安心して働ける職場づくりを目指して、育児休業の取得促進や残業の抑制などを図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	男性の育児休業取得率	76.9%	100%
Output	配偶者が出産した男性職員の育児休業制度オリエンテーションの参加率	84.6%	100%

◆人事交流による組織の活性化【総務課】

専門性をもった外部人材等、多様な人材の確保、外部人材との交流による組織の活性化に努めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 市職員の対応や仕事に対する姿勢への「満足度」	84.5%	90.0%
Output	人事交流数	4人	4人

施策 31 底流 2 歳出入一体改革の推進 公共施設の多面的活用



◆公共施設の再編、運営の見直し【管財課】

公共施設の統合・再編を進め、あわせて多面的活用の検討を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	再編した公共施設の数	4施設	8施設
Output	進捗状況	30.0%	60.0%

◆いきいき情報センターの活用促進【文化学習課】

いきいき情報センターの空きスペースの活用促進や再編案の検討を進めます。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	賃貸借事業者数	3事業者	5事業者
Output	施設の再編活用案の検討	未実施	実施

◆とびうめアリーナの活用促進【スポーツ課】

10周年イベントなど魅力的な事業を検討し多面的活用を行うことで今後の活用促進を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	とびうめアリーナ利用者数	123,572人	175,000人
Output	大規模イベントの開催	-	実施

◆太宰府館の活用促進【観光推進課】

太宰府館の計画的な改修、民間活力導入も含めた運営手法を検討し、より効果的な活用促進を図ります。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	民間活力導入に向けた計画の作成	未達成	達成
Output	太宰府館の民間活力導入進捗度	-	100%

◆公園の多面的活用促進【建設課】

従来の公園としての機能に加え地域のニーズに即した多面的活用を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	地域主体の公園利用、維持管理	-	
Output	自治会等への公園ニーズ調査の実施	未実施	実施

◆公民館の多面的活用促進【文化学習課】

従来の公民館としての機能に加え地域のニーズに即した多面的活用を推進します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	公民館に地域のニーズに即した多面的機能を持たせる	-	
Output	公民館としての機能に加え地域のニーズに即した多面的活用利用調査の実施	未実施	実施



◆ネーミングライツ制度の検討【経営企画課】

公共施設等資産の有効活用による財源の確保策としてネーミングライツ制度の導入を検討します。

	危	子	交
共			
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	ネーミングライツ導入施設数	0 箇所	2 箇所
Output	ネーミングライツ制度の導入	未導入	導入

◆財政負担軽減に寄与する業務改善【経営企画課】

市外者料金設定など歳入増加策や財政負担軽減に寄与する業務改善策を積極的に検討します。

	危	子	交
共			
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	財政負担軽減に寄与する業務数（累計）	-	10 件

◆普通財産の有効活用【管財課】

普通財産である市有地などの有効活用を図る観点から有償で貸付を行い、財源確保を図ります。

	危	子	交
共			
改			○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	普通財産貸付箇所総面積（電柱及び支線等を除く）	3,235 ㎡	3,500 ㎡
Output	貸付箇所数（電柱及び支線等を除く）	8 箇所	10 箇所

施策

33

底流 2 歳出入一体改革の推進

窓口機能の充実・強化等市民生活の向上

成

移

圏

行

9 国・県・市町村の連携によるまちづくり

11 国・県・市町村の連携によるまちづくり

17 国・県・市町村の連携によるまちづくり

◆(再掲)DXの推進【文書情報課】

地域課題、行政課題に DX を活用し課題の解決に取り組めます。

KPI	内容	基準値 (R5)	目標値 (R11)
Outcome	導入した件数（累計）	-	10 件
Output	課題解決に向け検討した件数(累計)	-	20 件

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

◆マイナンバーカード利用による手続き推進【市民課】

マイナンバーカード利用による行かない窓口・書かない窓口を目指します。

KPI	内容	基準値 (R5)	目標値 (R11)
Outcome	ワンストップ転出利用率	12.2%	30.0%
	ワンストップ転入利用率	13.8%	30.0%
Output	マイナンバーカード保有率	74.2%	90.0%

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

◆市役所機構改革の検討【経営企画課】

時代性や市民ニーズに即した全体最適化を図るための機構改革を検討します。

KPI	内容	基準値 (R5)	目標値 (R11)
Outcome	【市民意識調査】 効果的な行政運営に対する評価「肯定派」の割合	68.7%	73.0%
Output	機構改革の実施（累計）	0 回	2 回

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

◆(再掲)魅力や愛着を高める「だざいふ」ならではの情報発信

【経営企画課】

だざいふファンを獲得するための「魅力や愛着を高める情報」、市民生活を豊かにするための「暮らしに必要な情報」を戦略的・効果的に発信します。

	危	子	交
共	○	○	○
改	○	○	○

KPI	内容	基準値(R5)	目標値(R11)
Outcome	【市民意識調査】 本市の情報を得ている媒体／情報を得ていない人の割合	7.4%	5.0%
Output	情報発信に関するニーズ分析の実施(累計)	-	1回
Outcome	令和発祥の都サイト（観光・文化財）アクセス数	692,000PV	700,000PV
Output	市ホームページ（観光・文化財）評価「皆さまのご意見をお聞かせください」の分析によるアドバイス	-	年1回

第4章 地方創生だざいふモデル

1 地方自治の変遷

地方自治とは、地域のことについて、その地域の住民の意思に基づき行うことを言います。現在日本では、日本国憲法により地方自治が保障されていますが、古代日本においては中央集権的な体制がとられ、地方は中央から派遣された役人が監督し政治が行われました。次第に地方が力をつけ始め戦国時代の独立的な地方政権が樹立、江戸時代においては、中央集権体制を取りながらも、地方の大名に独立した権力を与える地方分権体制がとられました。戦前においては、中央集権的な体制に戻りましたが、戦後は日本国憲法、地方自治法が定められ、現代の日本では、日本国憲法の国民主権の理念のもと、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにするための地方分権改革が進められています。

2 地方創生だざいふモデル

地方分権が進む一方、地方自治体は刻々と変化する社会状況や多様化、複雑化する市民ニーズ等に素早く対応する必要があるだけでなく、少子高齢化が深刻化するなかで将来にわたり、生活を支える行政サービスを維持することも強く求められています。

本市においては、かねてより市政積年のもしくは社会先進的な課題の解決に向けて取組を進めており、民間企業との連携による経済税収効果の向上を意識した中学校完全給食やプール授業の民間委託を実施するなど先駆的かつ効率的な市政運営や未来への種まきを心がけて行っております。

今後においても真に持続可能な市政を実現するため、だざいふ特有の様々なキーワードを起点に中期的には様々な課題解決を進めながら、新たなイノベーション創出や国・県・関係機関とも緊密に連携すると同時に必要な事項については強く要望を行い、長期的にはだざいふが新たに地方創生のモデルケースを創出し、新しい地方の形として国と対等、地方のトップリーダーとなるべく、地方から国を変えていく取組を進めて参ります。

第5章 施策の効果検証等の実施

施策の効果検証と改善については、その着実な推進に向け、市民意識調査や太宰府市総合戦略推進委員会など市民や各種団体等のご意見等を踏まえ、各取組などの調査、検証を行いその結果に基づく見直し改善を図りながら事業を修正、見直し、持続可能なまちの創造に向けて、より一層挑戦を続けます。一方、災害時などはもちろん令和改元時やコロナ禍、猛暑記録など予期せぬ状況変更などがある場合は、より機動的に対応することがあります。

PDCA サイクル

